

医療従事者の給与に関する調査

調査結果報告書

平成16年9月

社団法人 全日本病院協会

医療従事者委員会

目 次

調査結果の概要	1
1 . 調査の目的	3
2 . 調査対象	3
3 . 実施時期ならびに回収状況	3
4 . 分析ならびに集計結果の表記について	4
5 . 異常値処理について	5
6 . 回答施設の属性	6
医療従事者の給与に関する調査結果	9
1 . 給与体系	11
2 . 常勤者の給与実態	23
3 . 非常勤者の給与実態	42
4 . 職員の定着状況	52
5 . 収益状況	53
6 . 平成14年度における改築、一部閉鎖等の特記事項（自由回答） ..	54
総括	5 7
資料編	5 9
1 . 調査票	59
2 . 医療従事者委員会 委員名簿	66

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、医療従事者の職種別給与の実態について調査を行った。具体的には、給与体系の整備状況、平成15年度の給与改訂の実態、経験年数、職種別の年収等の実態把握することを目的に調査を実施した。これらを通じて、社団法人全日本病院協会、NPO法人北海道病院協会、社団法人東京都医師会の各会員病院に対する情報提供を目指したものである。

集計・分析にあたっては、病院所在地による違いを明らかにすることに主眼をおき、全国、東京都、東京都を除くその他の道府県（北海道を含む）別の分析を行った。

2. 調査対象

社団法人全日本病院協会、北海道病院協会さらに社団法人東京都医師会の各会員病院を対象に調査を行った。なお、社団法人全日本病院協会は東京都に所在する病院（東京都に所在する病院については社団法人東京都医師会が実施）、社団法人東京都医師会会員病院では、開設者が国、公的機関および医育機関である病院を除いて対象とした。

3. 実施時期ならびに回収状況

アンケート調査の実施時期は下記の通りであった（図表 -1）。

実施方法は、郵送発送、郵送回収方式による自記式とした。有効回答件数は以下の通りであった（図表 -2）。

図表 - 1 実施時期

実施機関	実施時期
(社)全日本病院協会	平成16年1月
北海道病院協会	
(社)東京都医師会	

図表 - 2 有効回答件数

	発送数(件)	有効回収数(件)	有効回収率(%)
東京都	537(208)	246(88)	45.8(42.3)
北海道	369(174)	76(48)	20.6(27.6)
上記を除く全国	1,696(1,696)	204(204)	12.0(12.0)
合計	2,602(2,078)	538(340)	20.7(16.4)

注1：カッコ内の数値は社団法人全日本病院協会もしくは北海道病院協会会員病院数を示す。

注2：所在地不明の病院が12件あるため、有効回収数で東京都246件と北海道76件、上記を除く全国204件の合計は、全体538件と一致しない。

4 . 分析ならびに集計結果の表記について

各設問の集計にあたっては、病院所在地別に集計結果を把握することを目指し、以下のように分析を行い結果を表示している。具体的には、集計対象全数を対象にしたものを「全体」、「全体」のうち東京都に所在する病院を対象に集計したものを「東京都」（社団法人東京都医師会による調査データ部分）、「全体」のうち東京都以外の全国に所在する病院を「東京都以外の全国」（社団法人全日本病院協会、北海道病院協会による調査データ部分）と表記している（図表 -3）。

北海道病院協会実施分のみを集計分析についても実施したが、有効回答数が76件と集計するためには件数が少ないと判断し、本報告書での記載は避けた（「東京都以外の全国」に含めて集計している）。

結果の検討にあたって、病床規模の違いに着目し200床以上、未満（いずれも精神病床除く）に分けた分析を行った。しかしながら、各調査の有効回答は200床未満（精神病床除く）が大半を占めたことから、比較検討にあたっては200床以上（精神病床除く）の病院データと全体を比較し検討を行った。なお、本報告書の中では、200床以上（精神病床除く）の病院における集計結果が、全体の結果と違いがある場合のみコメントしている（図表 -3）。

図表 - 3 集計表例

職員別給与体系の有無	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
明確なものはない						
一応はあるが弾力的に対応している						
あって順守している						
無回答						
全体						

5. 異常値処理について

各調査項目のうち数値記入を求めた設問については、異常値処理の観点から以下の対応を行った上で集計を行った。

数値記入を求めた質問は、回答値上下2.5%を集計対象外として分析

問1 D)	給与改定額 (1人当たり平均月額)	集計にあたっては、年額記載と思われる数値が散見されたため、以下のデータ補正を行った上で分析した。 補正ルール：記入値をもとに中央値を算出し、その12倍以上の値については12分の1を再入力の上集計した。
問2	本俸	本俸よりも諸手当が大きい場合は、本俸を12倍 (月収記載とみなし補正)
	本俸	本俸よりも賞与が大きい場合は、本俸を12倍 (月収記載とみなし補正)
問5	収益状況	記載%値が20以下のものは100を加えて集計

注：問番号は資料編参照。

6 . 回答施設の属性

(1) 所在地別回収数

図表 - 4 所在地別回収数

調査票の種類	全体	東京都	東京都以外の 全国	所在地不明
医療従事者の給与に関する調査	538件	246件	280件 (うち北海道76件)	12件

全体の回収数は538件であり、うち東京都内に所在する病院が246件、東京都以外が280件であった。なお、東京以外の全国のうち北海道は76件であった(図表 - 4)。

(2) 許可病床数

図表 - 5 許可病床数と病床規模別病院数

全体

(単位:床)

病棟名	病院数	平均値	中央値	最大値	最小値
一般病床	351	107.68	63.00	896	4
療養病床 医療保険療養病床	206	61.14	48.00	428	3
療養病床 介護保険療養病床	130	64.91	52.00	258	4
精神病床	38	223.26	193.50	635	27
結核病床	7	38.43	32.00	60	13
感染症病床	1	6.00	-	-	-
許可病床数の合計	528	149.30	114.50	909	20

注: 全体の回収病院数は538施設だが、病院名について無回答の施設が10施設あったため、許可病床数の再調査が行えず、本設問の集計件数は528施設となっている。

所在地別

(単位:床)

病棟名	東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値
一般病床	201	111.95	150	101.97
療養病床 医療保険療養病床	90	54.83	116	66.03
療養病床 介護保険療養病床	55	64.84	75	64.96
精神病床	9	164.67	29	241.45
結核病床	5	35.40	2	46.00
感染症病床	1	6.00	0	-
許可病床数の合計	246	132.79	279	163.70

注: 所在地不明の病院が3件あるため、東京都246件と東京都以外の全国279件の合計は、全体528件と一致しない。

病床規模別

(単位：床)

病床規模	病院数	%
200床未満(精神病床除く)	439	83.1
200床以上(精神病床除く)	89	16.9
合計	528	100.0

許可病床数合計は、平均値からみると、「全体」で149.30床、中央値114.50床、最大値909床、最小値20床であった。病床の種類別にみると、「一般病床」が107.68床、「療養病床・医療保険療養病床」61.14床、「療養病床・介護保険療養病床」64.91床、「精神病床」223.26床、「結核病床」38.43床となり、「感染症病床」は6.00床であった(図表 -5)。

所在地別にみると、「精神病床」(241.45床)、「療養病床・医療保険療養病床」(66.03床)において東京都以外の全国が高い傾向にあった(「結核病床」にも違いがみられたが回病院数が限られているためコメントからは除外している)(図表 -5)。

なお、200床以上(精神病床除く)の病院数は89件であった(図表 -5)。

(3) 標榜診療科目

図表 - 6 標榜している診療科名(複数回答)

診療科名	全体		200床以上(精神病床除く)	
	病院数	%	病院数	%
内科	403	90.8	72	98.6
外科	272	61.3	57	78.1
脳外科	122	27.5	37	50.7
小児科	115	25.9	39	53.4
整形外科	273	61.5	63	86.3
産婦人科	92	20.7	40	54.8
耳鼻咽喉科	81	18.2	43	58.9
眼科	108	24.3	44	60.3
皮膚科	164	36.9	50	68.5
泌尿器科	160	36.0	54	74.0
麻酔科	125	28.2	50	68.5
精神科	75	16.9	27	37.0
その他	293	66.0	61	83.6
全体	444	100.0	73	100.0

標榜診療科名をみると、「内科」が90.8%と最も高く、次いで「整形外科」61.5%、「外科」61.3%の順であった。なお、「その他」が293件(66.0%)にのぼっていた(図表 -6)。

200床以上(精神病床除く)でみると、いずれの診療科も標榜割合が高い傾向にあったが、とりわけ、耳鼻咽喉科、麻酔科、泌尿器科、眼科、産婦人科、皮膚科において顕著な差がみられた(標榜割合において30%以上差がみられたものを表記)(図表 -6)。

(4) 今後目指す病院の機能

図表 -7 今後目指す病院の機能(複数回答)

病院の種別	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
一般病床	218	50.2	144	60.0	74	38.1
医療保険療養病床	86	19.8	42	17.5	44	22.7
介護保険療養病床	71	16.4	35	14.6	36	18.6
一般病床と療養病床の両方(ケアミックス)	121	27.9	52	21.7	69	35.6
精神病床	14	3.2	4	1.7	10	5.2
精神病床と療養病床の両方	7	1.6	3	1.3	4	2.1
その他	4	0.9	2	0.8	2	1.0
全体	434	100.0	240	100.0	194	100.0

200床以上(精神病床除く)

病院の種別	全体	
	病院数	%
一般病床	39	54.2
医療保険療養病床	11	12.4
介護保険療養病床	11	12.4
一般病床と療養病床の両方(ケアミックス)	21	23.6
精神病床	0	0.0
精神病床と療養病床の両方	1	1.1
その他	0	0.0
全体	72	100.0

今後目指していく中心的な病床・病棟機能に関する回答をみると、「一般病床」が50.2%を占め、次いで「一般病床と療養病床の両方(ケアミックス)」27.9%であった。療養病床についてみると、「医療保険療養病床」が19.8%と「介護保険療養病床」16.4%と比較して若干高い傾向にあった。200床以上(精神病床除く)でみると、医療保険、介護保険ともに療養病床の割合が低い傾向にあった(図表 -7)。

所在地別にみると、東京都では「一般病床」が60.0%を占め東京都以外の全国よりも割合が高い傾向にあった(図表 -7)。

医療従事者の給与に関する調査結果

1. 給与体系

問 貴院には常勤者について職種別の給与体系はありますか。

図表 - 1 職種別給与体系の有無

職員別給与体系の有無	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
明確なものはない	63	11.7	29	11.8	33	11.8
一応はあるが弾力的に対応している	189	35.1	97	39.4	91	32.5
あって順守している	187	34.8	87	35.4	99	35.4
無回答	99	18.4	33	13.4	57	20.4
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

注：所在地不明の病院が12件あるため、東京都246件と東京都以外の全国280件の合計は、全体538件と一致しない。

200床以上（精神病床除く）

職員別給与体系の有無	全体	
	病院数	%
明確なものはない	7	7.9
一応はあるが弾力的に対応している	15	16.9
あって順守している	51	57.3
無回答	16	18.0
全体	89	100.0

常勤者の給与について職種別の給与体系の有無をみると、「一応はあるが弾力的に対応している」が最も高く35.1%、次いで「あって順守している」34.8%、「明確なものはない」11.7%であった。200床以上（精神病床除く）の病院では「あって順守している」割合が57.3%と高い傾向にあった（図表 -1）。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国でみると、東京都以外の全国では「あって順守している」35.4%、「一応はあるが弾力的に対応している」32.5%の順に高くなっていた（図表 -1）。

問 （前問で、職種別の給与体系は「明確なものはない」と回答した施設のみ）今後、給与体系を作成したいと考えているかお伺いします。

図表 - 2 今後の給与体系の作成意向

職員別給与体系の作成意向	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
はい	49	77.8	23	79.3	25	75.8
いいえ	13	20.6	6	20.7	7	21.2
無回答	1	1.6	0	0.0	1	3.0
全体	63	100.0	29	100.0	33	100.0

注：所在地不明の病院があるため、東京都29件と東京都以外の全国33件の合計は、全体63件と一致しない。

前問で職種別の給与体系について「明確なものはない」と回答した63施設に対し、今後、給与体系の作成意向をみると、「はい」77.8%、「いいえ」20.6%で大半が給与体系の存在が必要であると示していた（図表 -2）。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国においても同様の傾向を示していた（図表 -2）。

問 平成14年度の職種別給与体系についてお伺いします。

図表 - 3 平成14年度 職種別給与体系

医師

給与体系 医師	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
公務員体系に準ずる	58	10.8	26	10.6	30	10.7
一定年齢（勤続年数）まで年功給	68	12.6	31	12.6	34	12.1
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	55	10.2	33	13.4	21	7.5
年俸制	328	61.0	137	55.7	186	66.4
無回答	29	5.4	19	7.7	9	3.2
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

注：所在地不明の病院が12件あるため、東京都246件と東京都以外の全国280件の合計は、全体538件と一致しない。

医師：200床以上（精神病床除く）

給与体系 医師	全体	
	病院数	%
公務員体系に準ずる	20	22.5
一定年齢（勤続年数）まで年功給	16	18.0
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	9	10.1
年俸制	39	43.8
無回答	5	5.6
全体	89	100.0

平成14年度の医師給与体系についてみると、「年俸制」が328施設（61.0%）で最も高く、その他の給与体系はいずれも10%前後であった（図表 -3 ）。

200床以上（精神病床除く）でみると、「公務員体系に準ずる」の割合が22.5%、「年俸制」43.8%と、年俸制の割合が減り公務員体系が増加する傾向にあった。これは、病床数の大きい病院において比較的公的病院の割合が高いことが影響しているものと考えられる（図表 -3 ）。

所在地別にみると、東京都以外の全国において、「年齢（勤続年数）より職能給が基本」（7.5%）の割合が低く、「年俸制」（66.4%）の割合が高くなる傾向にあった（図表 -3 ）。

看護職

給与体系 看護職	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
公務員体系に準ずる	104	19.3	35	14.2	66	23.6
一定年齢（勤続年数）まで年功給	253	47.0	115	46.7	131	46.8
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	156	29.0	77	31.3	78	27.9
無回答	25	4.6	19	7.7	5	1.8
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

注：所在地不明の病院が12件あるため、東京都246件と東京都以外の全国280件の合計は、全体538件と一致しない。

看護職：200床以上（精神病床除く）

給与体系 看護職	全体	
	病院数	%
公務員体系に準ずる	24	27.0
一定年齢（勤続年数）まで年功給	40	44.9
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	20	22.5
無回答	5	5.6
全体	89	100.0

看護職では、「一定年齢（勤続年数）まで年功給」が最も高く47.0%、次いで「年齢（勤続年数）よりも職能給が基本」29.0%、「公務員体系に準ずる」19.3%の順であった（図表-3）。

200床以上（精神病床除く）で見ると、医師同様「年齢（勤続年数）よりも職能給が基本」（22.5%）の割合が減り、「公務員体系に準ずる」（27.0%）割合が高くなる傾向にあった（図表-3）。

所在地別にみると、東京都以外の全国において「公務員体系に準ずる」（23.6%）の割合が高い傾向にあった（図表-3）。

技術職（薬剤師、PT等）

給与体系 技術職（薬剤師、PT等）	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
公務員体系に準ずる	103	19.1	35	14.2	65	23.2
一定年齢（勤続年数）まで年功給	235	43.7	109	44.3	119	42.5
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	167	31.0	82	33.3	84	30.0
無回答	33	6.1	20	8.1	12	4.3
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

注：所在地不明の病院が12件あるため、東京都246件と東京都以外の全国280件の合計は、全体538件と一致しない。

技術職（薬剤師、PT等）：200床以上（精神病床除く）

給与体系 技術職（薬剤師、PT等）	全体	
	病院数	%
公務員体系に準ずる	24	27.0
一定年齢（勤続年数）まで年功給	38	42.7
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	22	24.7
無回答	5	5.6
全体	89	100.0

技術職（薬剤師、PT等）では、看護職と同様に「一定年齢（勤続年数）まで年功制」が最も高く43.7%、次いで「年齢（勤続年数）よりも職能給が基本」31.0%、「公務員体系に準ずる」19.1%の順であった（図表 -3 ）。

200床以上（精神病床除く）でみると、「年齢（勤続年数）よりも職能給が基本」（24.7%）の割合が減り、「公務員体系に準ずる」（27.0%）割合が高くなる傾向にあった（図表 -3 ）。

所在地別にみると、東京都以外の全国において「公務員体系に準ずる」（23.2%）の割合が高い傾向にあった（図表 -3 ）。

事務職

給与体系 事務職	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
公務員体系に準ずる	102	19.0	34	13.8	65	23.2
一定年齢（勤続年数）まで年功給	250	46.5	115	46.7	128	45.7
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	159	29.6	78	31.7	80	28.6
無回答	27	5.0	19	7.7	7	2.5
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

注：所在地不明の病院が12件あるため、東京都246件と東京都以外の全国280件の合計は、全体538件と一致しない。

事務職：200床以上（精神病床除く）

給与体系 事務職	全体	
	病院数	%
公務員体系に準ずる	24	27.0
一定年齢（勤続年数）まで年功給	38	42.7
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	22	24.7
無回答	5	5.6
全体	89	100.0

事務職では、「一定年齢（勤続年数）まで年功給」が最も高く46.5%、次いで「年齢（勤続年数）よりも職能給が基本」29.6%、「公務員体系に準ずる」19.0%の順であった（図表-3）。

200床以上（精神病床除く）で見ると、他職種同様、「公務員体系に準ずる」（27.0%）の割合が高くなる傾向にあった（図表-3）。

所在地別にみると、東京都以外の全国において「公務員体系に準ずる」（23.2%）の割合が高い傾向にあった（図表-3）。

問 将来的にはどのような給与体系にしたいかお伺いします。

図表 - 4 将来の給与体系に対する希望

医師

将来の給与体系 医師	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
公務員体系に準ずる	40	7.4	21	8.5	17	6.1
一定年齢（勤続年数）まで年功給	22	4.1	11	4.5	9	3.2
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	81	15.1	43	17.5	37	13.2
年俸制	355	66.0	142	57.7	207	73.9
無回答	40	7.4	29	11.8	10	3.6
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

注：所在地不明の病院があるため、東京都246件と東京都以外の全国280件の合計は、全体538件と一致しない。

医師：200床以上（精神病床除く）

将来の給与体系 医師	全体	
	病院数	%
公務員体系に準ずる	14	15.7
一定年齢（勤続年数）まで年功給	1	1.1
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	17	19.1
年俸制	48	53.9
無回答	9	10.1
全体	89	100.0

将来的にどのような医師の給与体系をどのようにしたいかみると、「年俸制」の割合が66.0%と圧倒的に高くなっていた（図表 -4 ）。

200床以上（精神病床除く）でみると、「年俸制」（53.9%）の割合が低く、「公務員体系に準ずる」（15.7%）の割合が高くなる傾向にあった（図表 -4 ）。

所在地別にみると、同様の傾向にあった（東京都以外の全国の「年俸制」（73.9%）は東京都と比較して高いが、東京都において無回答の割合が高かったことも影響していると考えられる）。東京都以外の全国では「年俸制」が73.9%を占め、東京都よりも割合が高い傾向にあった（図表 -4 ）。

医師以外の職員

将来の給与体系 医師以外	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
公務員体系に準ずる	59	11.0	27	11.0	29	10.4
一定年齢（勤続年数）まで年功給	121	22.5	54	22.0	64	22.9
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	254	47.2	105	42.7	145	51.8
年俸制	56	10.4	26	10.6	29	10.4
無回答	48	8.9	34	13.8	13	4.6
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

注：所在地不明の病院があるため、東京都246件と東京都以外の全国280件の合計は、全体538件と一致しない。

医師以外の職員：200床以上（精神病床除く）

将来の給与体系 医師以外	全体	
	病院数	%
公務員体系に準ずる	19	21.3
一定年齢（勤続年数）まで年功給	14	15.7
年齢（勤続年数）よりも職能給が基本	43	48.3
年俸制	3	3.4
無回答	10	11.2
全体	89	100.0

医師以外の職員では、「年齢（勤続年数）よりも職能給が基本」が最も高く47.2%、次いで「一定年齢（勤続年数）まで年功給」22.5%、「公務員体系に準ずる」11.0%、「年俸制」10.4%の順であった（図表 -4 ）。

200床以上（精神病床除く）で見ると、「年俸制」（3.4%）の割合が低く、「公務員体系に準ずる」（21.3%）の割合が高くなる傾向にあった（図表 -4 ）。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国においても同様の傾向にあった（図表 -4 ）。

問 平成15年度における貴院常勤者の給与改定についてお伺いします。

図表 - 5 平成15年度 常勤在職者の給与改定

医師

給与改定 医師	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
全体的に引き上げた	116	21.6	44	17.9	71	25.4
変更しなかった	347	64.5	162	65.9	177	63.2
全体的に引き下げた	28	5.2	20	8.1	7	2.5
無回答	47	8.7	20	8.1	25	8.9
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

注：所在地不明の病院があるため、東京都246件と東京都以外の全国280件の合計は、全体538件と一致しない。

医師：200床以上（精神病床除く）

給与改定 医師	全体	
	病院数	%
全体的に引き上げた	31	34.8
変更しなかった	37	41.6
全体的に引き下げた	12	13.5
無回答	9	10.1
全体	89	100.0

平成15年度における常勤医師の給与改定の状況をみると、「変更しなかった」が最も高く64.5%、次いで「全体的に引き上げた」21.6%、「全体的に引き下げた」5.2%の順であり、給与改定があったところでは引き上げた割合の方が高くなっていた（図表 -5 ）。

200床以上（精神病床除く）でみると、「全体的に引き上げた」（34.8%）の割合が高くなっている一方で、「全体的に引き下げた」割合も13.5%と高くなる傾向にあり、全体よりも給与改定があった割合が高くなっていた。また、「全体的に引き上げた」割合が高い傾向にあった（図表 -5 ）。

所在地別にみると、「全体的に引き上げた」において東京都以外の全国（25.4%）の割合が高い傾向にあった（図表 -5 ）。

<参考>

給与改定の引き上げ、引き下げがあった病院を対象にその一人当たり平均月額の記事を求めた結果は以下の通りであった。なお、集計にあたっては、年額記載と思われる数値が散見されたため、以下のデータ補正を行った上で分析した。

補正ルール：記入値をもとに中央値を算出し、その12倍以上の値については12分の1を再入力の上集計した。

（単位：円）

1人当たり平均月額 医師	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
全体的に引き上げた	94	30,038.28	38	30,910.78	56	29,446.22
全体的に引き下げた	15	43,315.80	12	41,128.08	3	52,066.67

看護職

給与改定 看護職	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
全体的に引き上げた	241	44.8	110	44.7	128	45.7
変更しなかった	225	41.8	97	39.4	122	43.6
全体的に引き下げた	31	5.8	19	7.7	11	3.9
無回答	41	7.6	20	8.1	19	6.8
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

看護職：200床以上（精神病床除く）

給与改定 看護職	全体	
	病院数	%
全体的に引き上げた	45	50.6
変更しなかった	22	24.7
全体的に引き下げた	12	13.5
無回答	10	11.2
全体	89	100.0

平成15年度における常勤看護職の給与改定の状況をみると、「全体的に引き上げた」が最も高く44.8%、次いで「変更しなかった」41.8%、「全体的に引き下げた」5.8%の順であり、給与改定があったところでは引き上げたあった割合の方が圧倒的に高くなっていた（図表-5）。

200床以上（精神病床除く）でみると、「全体的に引き上げた」（50.6%）の割合が高くなっている一方で、「全体的に引き下げた」割合も13.5%と高くなる傾向にあり、全体よりも給与改定があった割合が高くなっていた。また、「全体的に引き上げた」割合が高い傾向にあった（図表-5）。

所在地別にみると、東京都の方が「全体的に引き下げた」（7.7%）割合が若干高い傾向にあった（図表-5）。

<参考>

集計にあたっての補正ルールは「医師」と同じ。

補正ルール：記入値をもとに中央値を算出し、その12倍以上の値については12分の1を再入力の上集計した。

（単位：円）

1人当たり平均月額 看護職	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病数	平均値
全体的に引き上げた	203	4,933.34	95	5,545.11	106	4,399.60
全体的に引き下げた	17	11,160.71	12	14,436.01	5	3,300.00

技術職（薬剤師、PT等）

給与改定 技術職（薬剤師、PT等）	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
全体的に引き上げた	229	42.6	99	40.2	127	45.4
変更しなかった	238	44.2	107	43.5	124	44.3
全体的に引き下げた	29	5.4	19	7.7	9	3.2
無回答	42	7.8	21	8.5	20	7.1
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

技術職（薬剤師、PT等）：200床以上（精神病床除く）

給与改定 技術職（薬剤師、PT等）	全体	
	病院数	%
全体的に引き上げた	45	50.6
変更しなかった	23	25.8
全体的に引き下げた	11	12.4
無回答	10	11.2
全体	89	100.0

平成15年度における常勤技術職（薬剤師、PT等）の給与改定の状況をみると、「変更しなかった」が最も高く44.2%、次いで「全体的に引き上げた」42.6%、「全体的に引き下げた」5.4%と、給与改定があった病院では引き上げた割合の方が高くなっていた（図表 -5）。

200床以上（精神病床除く）でみると、「全体的に引き上げた」が50.6%と高い傾向にあった。一方で、「全体的に引き下げた」も12.4%と給与改定があった割合が高い傾向にあった（図表 -5）。

所在地別にみると、東京都以外の全国で「全体的に引き上げた」の割合が45.4%と若干高い傾向にあった（図表 -5）。

<参考>

集計にあたっての補正ルールは「医師」と同じ。

補正ルール：記入値をもとに中央値を算出し、その12倍以上の値については12分の1を再入力の上集計した。

（単位：円）

1人当たり平均月額 技術職（薬剤師、PT等）	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
全体的に引き上げた	192	4,819.86	86	5,207.07	104	4,548.79
全体的に引き下げた	17	13,686.47	12	17,897.50	5	3,580.00

事務職

給与改定 事務職	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
全体的に引き上げた	227	42.2	104	42.3	120	42.9
変更しなかった	240	44.6	103	41.9	130	46.4
全体的に引き下げた	30	5.6	19	7.7	10	3.6
無回答	41	7.6	20	8.1	20	7.1
全体	538	100.0	246	100.0	280	100.0

事務職：200床以上（精神病床除く）

給与改定 事務職	全体	
	病院数	%
全体的に引き上げた	43	48.3
変更しなかった	24	27.0
全体的に引き下げた	12	13.5
無回答	10	11.2
全体	89	100.0

平成15年度における常勤事務職の給与改定の状況をみると、「変更しなかった」が最も高く44.6%、次いで「全体的に引き上げた」42.2%、「全体的に引き下げた」5.6%の順であり、給与改定があった病院では引き上げた割合の方が高くなっていた（図表 -5）。

200床以上（精神病床除く）でみると、「全体的に引き上げた」48.3%、「全体的に引き下げた」13.5%と、給与改定があった割合が高い傾向にあった（図表 -5）。

所在地別にみると、東京都以外の全国で「変更しなかった」割合が46.4%と若干高い傾向にあった（図表 -5）。

<参考>

集計にあたっての補正ルールは「医師」と同じ。

補正ルール：記入値をもとに中央値を算出し、その12倍以上の値については12分の1を再入力の上集計した。

（単位：円）

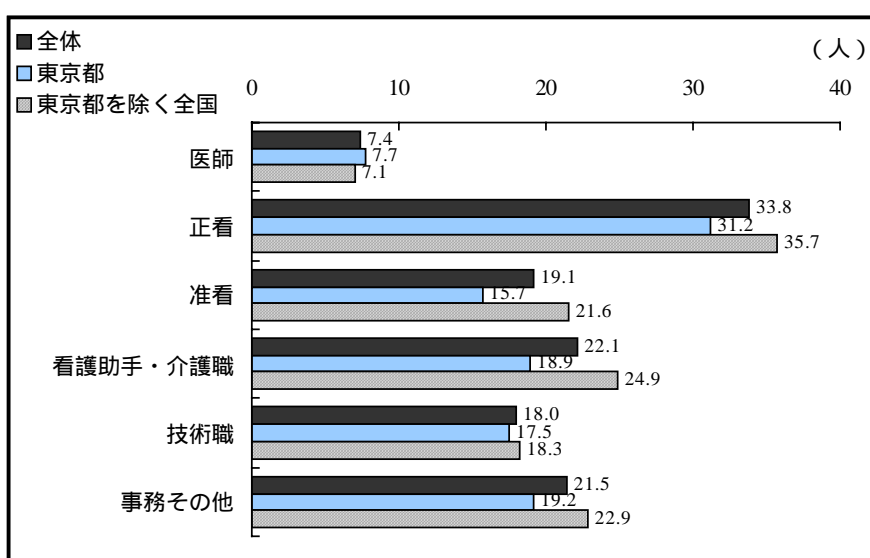
1人あたり平均月額 事務職	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
全体的に引き上げた	193	3,910.72	91	4,405.61	100	3,506.51
全体的に引き下げた	18	11,435.19	12	15,684.03	6	2,937.50

2. 常勤者の給与実態

(1) 常勤者の勤務概況

本設問では、平成14年度の常勤者の給与実態を把握することを目的に、職種別に人数、平均年齢、一人当たりの勤務日数ならびに一人当たり年間支給額を調査した。一人当たり年間支給額については、本俸、諸手当、賞与、法定福利費別に記入を求めた。各調査結果は図表-6から図表-12に示している。

図表 - 6 平均人数



(単位：人)

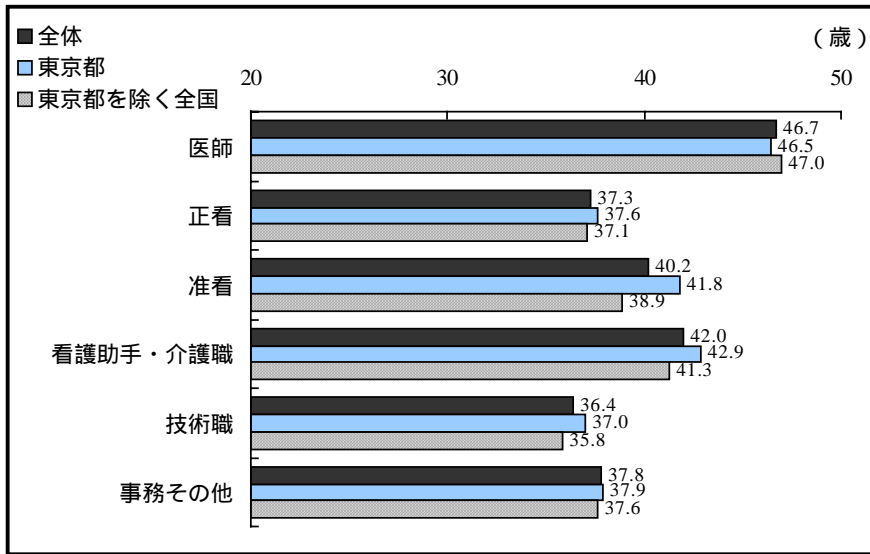
常勤者の給与実態	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均人数	病院数	平均人数	病院数	平均人数
医師	421	7.4	184	7.7	230	7.1
正看	427	33.8	186	31.2	234	35.7
准看	420	19.1	181	15.7	231	21.6
看護助手・介護職	405	22.1	177	18.9	221	24.9
技術職	423	18.0	183	17.5	234	18.3
事務・その他	424	21.5	185	19.2	232	22.9

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の件数についての合計は、全体と一致しない。

平成14年度の常勤者の職種別人数をみると、全体では「医師」7.4人、「正看」33.8人、「准看」19.1人、「看護助手・介護職」22.1人、「技術職」18.0人、「事務・その他」21.5人であった(図表-6)。

所在地別にみると、東京都以外の全国では、「正看」、「准看」、「看護助手・介護職」、さらに「事務職・その他」において若干人数が多い傾向にあった(図表-6)。

図表 - 6 平均年齢



(単位：歳)

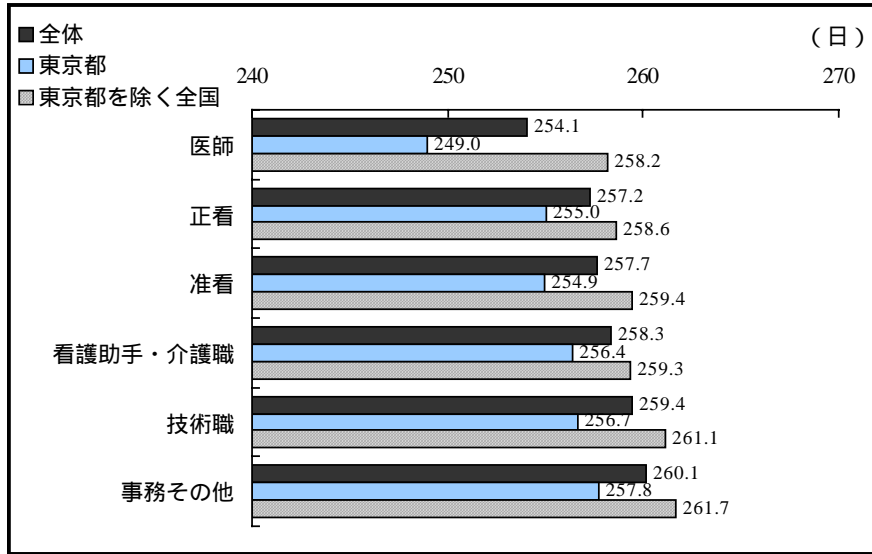
常勤者の給与実態	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均年齢	病院数	平均年齢	病院数	平均年齢
医師	360	46.7	175	46.5	182	47.0
正看	372	37.3	181	37.6	188	37.1
准看	364	40.2	170	41.8	191	38.9
看護助手・介護職	353	42.0	168	42.9	183	41.3
技術職	363	36.4	180	37.0	181	35.8
事務・その他	366	37.8	177	37.9	186	37.6

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の件数についての合計は、全体と一致しない。

平成14年度の常勤者の職種別平均年齢をみると、「医師」46.7歳、「正看」37.3歳、「准看」40.2歳、「看護助手・介護職」42.0歳、「技術職」36.4歳、「事務・その他」37.8歳であった(図表 -6)。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国において大きな違いはみられなかった(図表 -6)。

図表 - 6 平均年間勤務日数



(単位：日)

常勤者の給与実態	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均日数	病院数	平均日数	病院数	平均日数
医師	390	254.1	170	249.0	212	258.2
正看	402	257.2	175	255.0	219	258.6
准看	397	257.7	170	254.9	219	259.4
看護助手・介護職	382	258.3	163	256.4	211	259.3
技術職	400	259.4	176	256.7	216	261.1
事務・その他	403	260.1	178	257.8	217	261.7

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の件数についての合計は、全体と一致しない。

平成14年度の常勤者の職種別平均年間勤務日数をみると、「医師」254.1日、「正看」257.2日、「准看」257.7日、「看護助手・介護職」258.3日、「技術職」259.4日、「事務・その他」260.1日であった（図表 -6 ）。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国で大きな違いはみられなかった（図表 -6 ）

(2) 常勤者の一人当たり年間支給額

図表 - 7 常勤医師の一人当たり年間支給額

全体 / 所在地別

	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
本俸(千円)	293	10,875.90	141	10,635.42	149	11,111.02
諸手当(千円)	247	3,025.30	116	3,250.29	128	2,795.54
賞与(千円)	247	1,665.32	122	1,739.91	122	1,557.90
法定福利費(千円)	265	1,187.80	126	1,110.19	136	1,260.38
総支給額(千円)	366	16,070.15	134	15,976.50	224	16,154.72

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の件数についての合計は、全体と一致しない。

200床以上(精神病床除く)

	全体	
	病院数	平均値
本俸(千円)	56	9,674.66
諸手当(千円)	50	3,111.04
賞与(千円)	50	2,100.94
法定福利費(千円)	52	1,237.21
総支給額(千円)	64	15,809.09

総支給額の比較

	全体		
	病院数	総支給額(千円)	全体を1とした場合の比率
全体	366	16,070.15	1.00
東京都	134	15,976.50	0.99
東京都以外の全国	224	16,154.72	1.01
200床以上(精神病床除く)	64	15,809.09	0.98

平成14年度の常勤医師の給与実態をみると、「本俸」10,875.90千円、「諸手当」3,025.30千円、「賞与」1,665.32千円、「法定福利費」1,187.80千円、「総支給額」は16,070.15千円であった(図表 -7)。

200床以上(精神病床除く)での「総支給額」は15,809.09千円であった(図表 -7)。

「総支給額」について所在地、200床以上(精神病床除く)間で比較したところ大きな違いはみられなかった(図表 -7)。

図表 - 8 常勤正看護師の一人当たり年間支給額

全体 / 所在地別

	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
本俸（千円）	367	2,916.00	181	3,016.13	183	2,823.43
諸手当（千円）	354	983.07	167	1,159.49	184	832.26
賞与（千円）	362	949.14	175	959.84	184	940.00
法定福利費（千円）	332	533.70	156	561.38	173	510.35
総支給額（千円）	387	5,258.14	159	5,705.26	220	4,966.44

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の件数についての合計は、全体と一致しない。

200床以上（精神病床除く）

	全体	
	病院数	平均値
本俸（千円）	64	3,012.87
諸手当（千円）	60	981.22
賞与（千円）	59	1,040.98
法定福利費（千円）	55	561.84
総支給額（千円）	63	5,396.87

総支給額の比較

	全体		
	病院数	総支給額（千円）	全体を1とした場合の比率
全体	387	5,258.14	1.00
東京都	159	5,705.26	1.09
東京都以外の全国	220	4,966.44	0.94
200床以上（精神病床除く）	63	5,396.87	1.03

平成14年度の常勤正看護師の給与実態をみると、「本俸」2,916.00千円、「諸手当」983.07千円、「賞与」949.14千円、「法定福利費」533.70千円、「総支給額」は5,258.14千円であった（図表 -8 ）。

200床以上（精神病床除く）での「総支給額」は5,396.87千円であった（図表 -8 ）。

「総支給額」について所在地、200床以上（精神病床除く）間で比較したところ、東京都（対全体比1.09）が最も高い傾向にあった（図表 -8 ）。

図表 - 9 常勤准看護師の一人当たり年間支給額

全体 / 所在地別

	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
本俸 (千円)	360	2,666.41	170	2,843.45	188	2,509.57
諸手当 (千円)	347	896.14	161	1,110.60	183	716.79
賞与 (千円)	357	854.34	169	894.95	185	819.14
法定福利費 (千円)	325	488.58	150	528.83	172	454.92
総支給額 (千円)	379	4,762.35	148	5,374.83	224	4,378.18

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の件数についての合計は、全体と一致しない。

200床以上 (精神病床除く)

	全体	
	病院数	平均値
本俸 (千円)	54	2,777.93
諸手当 (千円)	54	858.22
賞与 (千円)	51	939.90
法定福利費 (千円)	51	530.27
総支給額 (千円)	54	4,927.00

総支給額の比較

	全体		
	病院数	総支給額 (千円)	全体を1とした場合の比率
全体	379	4,762.35	1.00
東京都	148	5,374.83	1.13
東京都以外の全国	224	4,378.18	0.92
200床以上 (精神病床除く)	54	4,927.00	1.03

平成14年度の常勤准看護師の給与実態をみると、「本俸」2,666.41千円、「諸手当」896.14千円、「賞与」854.34千円、「法定福利費」488.58千円、「総支給額」は4,762.35千円であった(図表 -9)。

200床以上 (精神病院除く) での「総支給額」は4,927.00千円であった(図表 -9)。

「総支給額」について所在地、200床以上 (精神病床除く) 間で比較したところ、東京都が最も高く対全体比1.13、東京都以外の全国は対全体比0.92と違いがみられた(図表 -9)。

図表 - 10 常勤看護助手・介護職の一人当たり年間支給額

全体 / 所在地別

	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
本俸（千円）	353	1,890.49	166	1,990.32	185	1,802.61
諸手当（千円）	336	487.52	154	606.44	180	389.47
賞与（千円）	345	581.51	161	610.07	182	556.13
法定福利費（千円）	317	332.11	141	358.67	174	310.85
総支給額（千円）	362	3,204.92	138	3,546.07	217	2,991.85

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の件数についての合計は、全体と一致しない。

200床以上（精神病床除く）

	全体	
	病院数	平均値
本俸（千円）	57	2,041.74
諸手当（千円）	50	453.34
賞与（千円）	51	658.61
法定福利費（千円）	49	370.73
総支給額（千円）	54	3,379.31

総支給額の比較

	全体		
	病院数	総支給額（千円）	全体を1とした場合の比率
全体	362	3,204.92	1.00
東京都	138	3,546.07	1.11
東京都以外の全国	217	2,991.85	0.93
200床以上（精神病床除く）	54	3,379.31	1.05

平成14年度の常勤看護助手・介護職の給与実態をみると、「本俸」1,890.49千円、「諸手当」487.52千円、「賞与」581.51千円、「法定福利費」332.11千円、「総支給額」は3,204.92千円であった（図表 -10 ）。

200床以上（精神病床除く）での「総支給額」は3,379.31千円であった（図表 -10 ）。

「総支給額」について所在地、200床以上（精神病床除く）間で比較したところ、東京都が対全体比1.11、東京都以外の全国は対全体比0.93と違いがみられた（図表 -10 ）。

図表 - 11 常勤技術職の一人当たり年間支給額

全体 / 所在地別

	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
本俸（千円）	361	2,938.26	171	3,019.25	188	2,863.54
諸手当（千円）	348	779.36	163	877.55	183	694.72
賞与（千円）	358	949.35	172	955.24	184	943.43
法定福利費（千円）	331	520.95	153	538.75	176	504.76
総支給額（千円）	386	5,068.31	155	5,373.82	225	4,868.05

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の件数についての合計は、全体と一致しない。

200床以上（精神病床除く）

	全体	
	病院数	平均値
本俸（千円）	62	2,972.76
諸手当（千円）	58	796.53
賞与（千円）	58	1,009.17
法定福利費（千円）	55	538.47
総支給額（千円）	60	5,069.72

総支給額の比較

	全体		
	病院数	総支給額（千円）	全体を1とした場合の比率
全体	386	5,068.31	1.00
東京都	155	5,373.82	1.06
東京都以外の全国	225	4,868.05	0.96
200床以上（精神病床除く）	60	5,069.72	1.00

平成14年度の常勤技術職の給与実態をみると、「本俸」2,938.26千円、「諸手当」779.36千円、「賞与」949.35千円、「法定福利費」520.95千円、「総支給額」は5,068.31千円であった（図表 -11）。

200床以上（精神病床除く）での「総支給額」は5,069.72千円であった（図表 -11）。

「総支給額」について所在地、200床以上（精神病床除く）間で比較したところ、東京都が最も高く対全体比1.06、東京都以外の全国は対全体比0.96と違いがみられた（図表 -11）。

図表 - 12 常勤事務・その他職員の一人当たり年間支給額

全体 / 所在地別

	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
本俸（千円）	363	2,355.84	176	2,493.10	184	2,221.67
諸手当（千円）	352	629.48	167	767.32	182	502.24
賞与（千円）	360	754.70	173	772.08	184	740.46
法定福利費（千円）	332	415.86	154	442.64	175	391.03
総支給額（千円）	382	4,036.86	150	4,455.38	224	3,769.04

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の件数についての合計は、全体と一致しない。

200床以上（精神病床除く）

	全体	
	病院数	平均値
本俸（千円）	60	2,545.02
諸手当（千円）	56	693.46
賞与（千円）	57	886.33
法定福利費（千円）	52	459.48
総支給額（千円）	58	4,291.66

総支給額の比較

	全体		
	病院数	総支給額（千円）	全体を1とした場合の比率
全体	382	4,036.86	1.00
東京都	150	4,455.38	1.10
東京都以外の全国	224	3,769.04	0.93
200床以上（精神病床除く）	58	4,291.66	1.06

平成14年度の常勤事務・その他職員の給与実態をみると、「本俸」2,355.84千円、「諸手当」629.48千円、「賞与」754.70千円、「法定福利費」415.86千円、「総支給額」は4,036.86千円であった（図表 -12）。

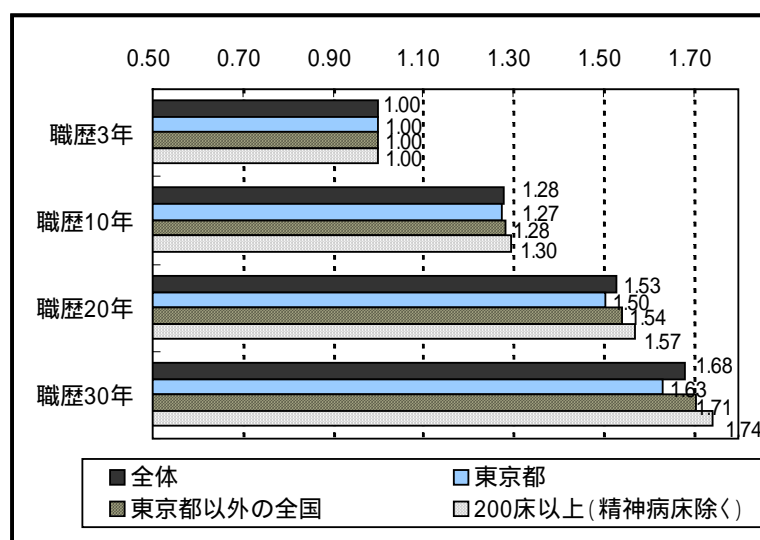
200床以上（精神病院除く）での「総支給額」は4,291.66千円であった（図表 -12）。

「総支給額」について所在地、200床以上（精神病床除く）間で比較したところ、東京都が最も高く対全体比1.10、東京都以外の全国は対全体比0.93と違いがみられた。なお、200床以上（精神病床除く）でみると、対全体比1.06と高くなっていた（図表 -12）。

(3) 経験年数による年収の推移

本設問では、平成14年度の常勤者の経験年数による一人当たり年収を調査した。各調査結果は図表 -13から図表 -22に示している。

図表 - 13 常勤医師の経験年数別一人当たり年収



所在地別

(単位: 千円)

経験年数	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
職歴3年	317	11,235.30	132	11,260.64	178	11,238.97
職歴10年	330	14,393.08	138	14,340.38	185	14,425.11
職歴20年	300	17,200.43	125	16,926.15	168	17,328.89
職歴30年	263	18,885.75	114	18,354.63	143	19,188.92

病床規模別

(単位: 千円)

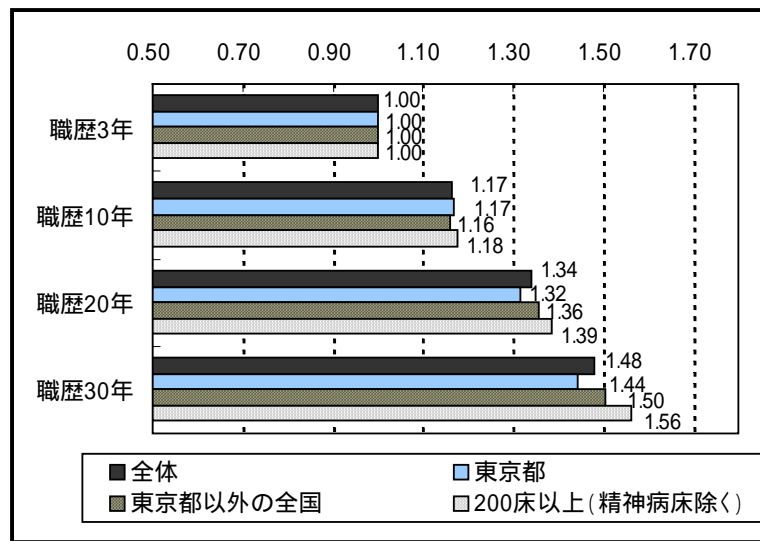
経験年数	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
職歴3年	59	10,646.78
職歴10年	64	13,794.86
職歴20年	62	16,738.21
職歴30年	55	18,552.65

医師の経験年数別一人当たり平均年収をみると、「職歴3年」が11,235.30千円、「職歴10年」は14,393.08千円、「職歴20年」は17,200.43千円、「職歴30年」は18,885.75千円であった(図表 -13)。

所在地別に経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率をみたところ、「職歴30年」では東京都以外の全国が1.71倍と若干高い傾向にあった(図表 -13グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率は、「職歴30年」で1.74倍と全体よりも若干高い傾向を示した(図表 -13グラフ)。

図表 - 14 常勤正看護師の経験年数別一人当たり年収



所在地別

(単位：千円)

平均年収 正看	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
職歴3年	402	4,172.79	155	4,530.87	238	3,953.51
職歴10年	399	4,861.39	157	5,302.47	233	4,583.16
職歴20年	361	5,589.94	140	5,971.04	211	5,357.63
職歴30年	304	6,176.64	116	6,546.68	180	5,941.96

病床規模別

(単位：千円)

経験年数	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
職歴3年	74	4,264.28
職歴10年	69	5,017.04
職歴20年	66	5,908.30
職歴30年	55	6,659.69

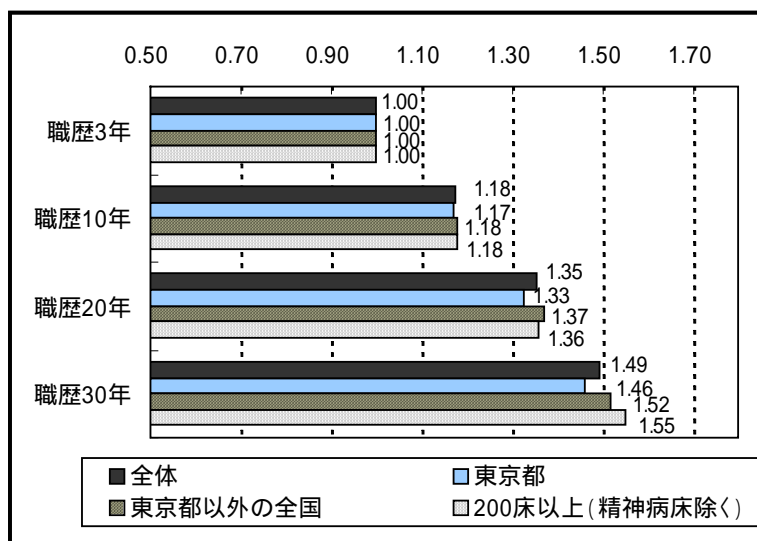
正看護師の経験年数別一人当たり平均年収をみると、「職歴3年」が4,172.79千円、「職歴10年」は4,861.39千円、「職歴20年」は5,589.94千円、「職歴30年」は6,176.64千円であった(図表 -14)。

東京都、東京都以外の全国をみるとすべての経験年数において東京都の平均年収が高い傾向にあった。とくに「職歴10年」では大きな差がみられた(図表 -14)。

所在地別に経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率をみたところ、「職歴30年」では東京都以外の全国が1.50倍と若干高い傾向にあった(図表 -14グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率は、「職歴30年」で1.56倍と全体よりも若干高い傾向を示した(図表 -14グラフ)。

図表 - 15 常勤准看護師の経験年数別一人当たり年収



所在地別

(単位：千円)

平均年収 准看	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
職歴3年	395	3,561.52	148	3,959.86	238	3,326.42
職歴10年	401	4,187.47	154	4,634.25	237	3,916.73
職歴20年	362	4,825.51	143	5,250.66	210	4,564.04
職歴30年	316	5,314.83	119	5,784.46	188	5,046.84

病床規模別

(単位：千円)

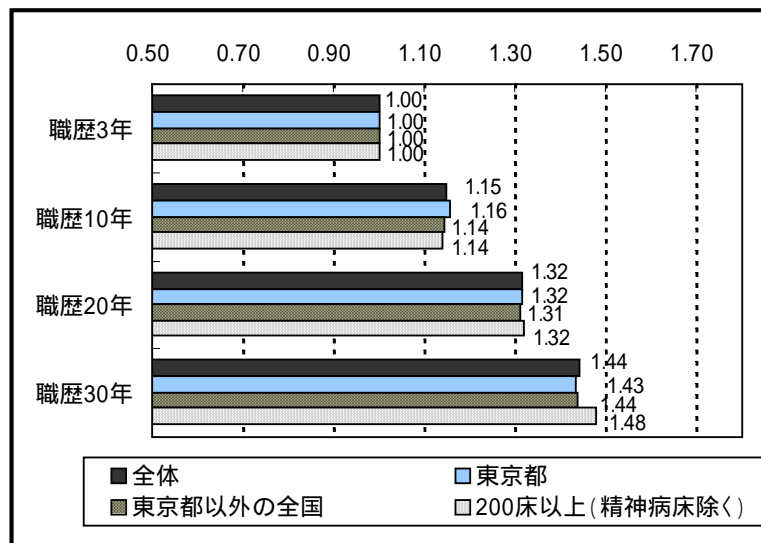
経験年数	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
職歴3年	68	3,606.47
職歴10年	66	4,256.62
職歴20年	56	4,903.45
職歴30年	55	5,585.16

准看護師の経験年数別一人当たり平均年収をみると、「職歴3年」が3,561.52千円、「職歴10年」は4,187.47千円、「職歴20年」は4,825.51千円、「職歴30年」は5,314.83千円であった。なお、東京都の平均年収が高く、すべての経験年数において大きな差がみられた(図表 - 15)。

所在地別に経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率をみたところ、「職歴30年」では東京都以外の全国が1.52倍と若干高い傾向にあった(図表 - 15グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率は、「職歴30年」で1.55倍と全体よりも若干高い傾向を示した(図表 - 15グラフ)。

図表 - 16 常勤看護助手・介護職の経験年数別一人当たり年収



所在地別

(単位：千円)

平均年収 看護助手・介護職	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
職歴3年	385	2,642.13	149	2,877.70	229	2,496.08
職歴10年	374	3,030.74	139	3,331.46	229	2,856.58
職歴20年	319	3,474.46	123	3,787.30	190	3,274.40
職歴30年	277	3,805.52	110	4,125.75	161	3,584.99

病床規模別

(単位：千円)

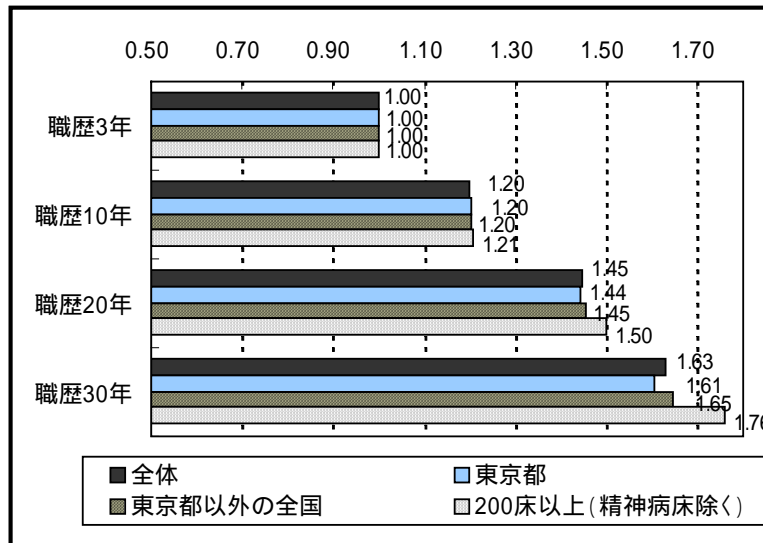
経験年数	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
職歴3年	65	2,754.31
職歴10年	63	3,144.81
職歴20年	54	3,638.39
職歴30年	46	4,067.59

看護助手・介護職の経験年数別一人当たり平均年収をみると、「職歴3年」が2,642.13千円、「職歴10年」は3,030.74千円、「職歴20年」は3,474.46千円、「職歴30年」は3,805.52千円であった。また、東京都、東京都以外の全国をみると、すべての経験年数において東京都の平均年収が高い傾向にあった(図表 -16)。

所在地別に経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率をみたところ、「職歴30年」では東京都以外の全国が1.44倍と全体と同じで若干高い傾向にあった(図表 -16グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率は、「職歴30年」で1.48倍と全体よりも若干高い傾向を示した(図表 -16グラフ)。

図表 - 17 常勤薬剤師の経験年数別一人当たり年収



所在地別 (単位：千円)

平均年収 薬剤師	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
職歴3年	373	3,984.80	156	4,082.67	210	3,912.32
職歴10年	349	4,782.48	145	4,911.62	198	4,704.28
職歴20年	320	5,758.93	127	5,880.97	186	5,683.59
職歴30年	279	6,485.95	109	6,553.80	163	6,439.00

病床規模別 (単位：千円)

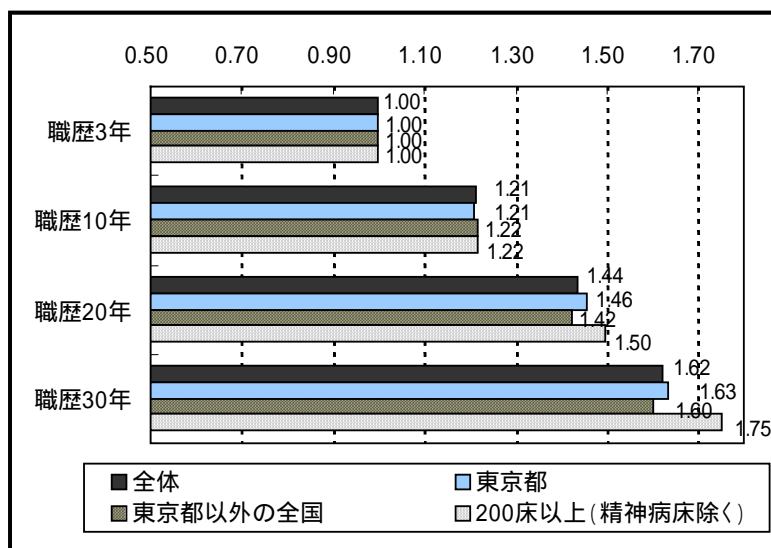
経験年数	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
職歴3年	71	4,035.31
職歴10年	67	4,872.37
職歴20年	60	6,051.67
職歴30年	54	7,094.22

薬剤師の経験年数別一人当たり平均年収をみると、「職歴3年」が3,984.80千円、「職歴10年」は4,782.48千円、「職歴20年」は5,758.93千円、「職歴30年」は6,485.95千円であった。すべての経験年数において東京都の平均年収が高い傾向にあったが、他の職種のような大きな差はみられなかった(図表 -17)。

所在地別に経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率をみたところ、「職歴30年」では東京都以外の全国が1.65倍と若干高い傾向にあった(図表 -17グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率は、「職歴30年」で1.76倍と全体よりも若干高い傾向を示した(図表 -17グラフ)。

図表 - 18 常勤PT・OT・STの経験年数別一人当たり年収



所在地別 (単位：千円)

平均年収 PT・OT・ST	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
職歴3年	300	3,849.06	100	4,001.40	192	3,776.13
職歴10年	272	4,667.94	93	4,834.41	172	4,588.27
職歴20年	243	5,531.32	84	5,826.51	152	5,369.07
職歴30年	223	6,237.93	81	6,530.23	135	6,052.37

病床規模別 (単位：千円)

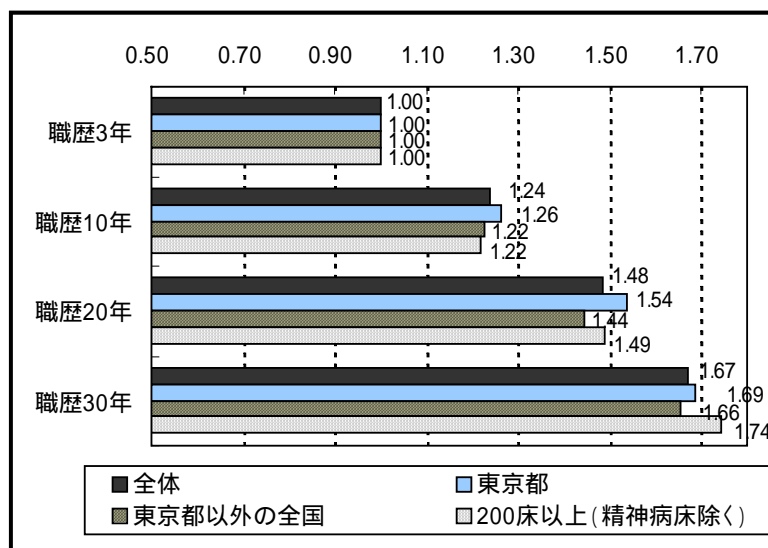
経験年数	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
職歴3年	73	3,942.03
職歴10年	68	4,793.32
職歴20年	63	5,893.44
職歴30年	53	6,898.45

PT・OT・STの経験年数別一人当たり平均年収をみると、「職歴3年」が3,849.06千円、「職歴10年」は4,667.94千円、「職歴20年」は5,531.32千円、「職歴30年」は6,237.93千円であった。東京都、東京都以外の全国をみると、すべての経験年数において東京都の平均年収が高い傾向にあった(図表 -18)。

所在地別に経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率をみたところ、「職歴30年」では東京都が1.63倍と若干高い傾向にあった(図表 -18グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率は、「職歴30年」で1.75倍と全体よりも若干高い傾向を示した(図表 -18グラフ)。

図表 - 19 常勤放射線技師の経験年数別一人当たり年収



所在地別 (単位：千円)

平均年収 放射線技師	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
職歴3年	335	3,937.27	140	4,096.44	187	3,820.93
職歴10年	331	4,876.20	133	5,175.62	192	4,679.98
職歴20年	294	5,839.59	118	6,301.26	170	5,520.37
職歴30年	266	6,584.87	108	6,911.43	151	6,328.67

病床規模別 (単位：千円)

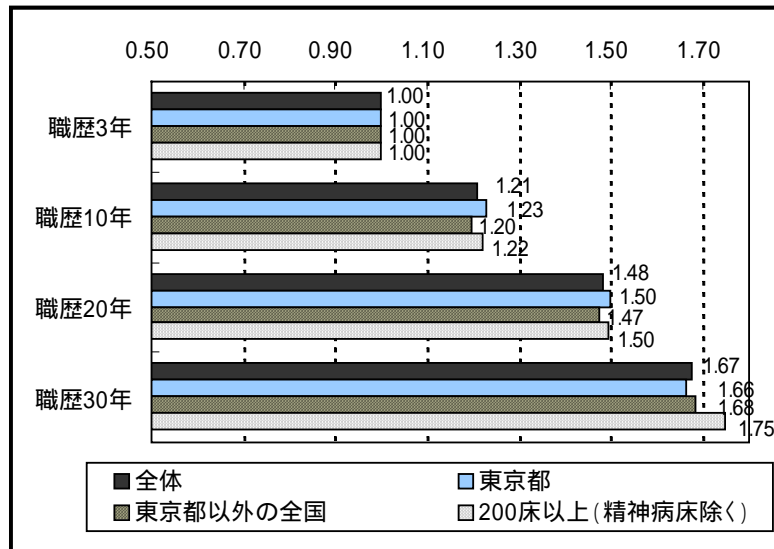
経験年数	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
職歴3年	68	4,086.71
職歴10年	68	4,988.24
職歴20年	60	6,079.33
職歴30年	54	7,121.57

放射線技師の経験年数別一人当たり平均年収をみると、「職歴3年」が3,937.27千円、「職歴10年」は4,876.20千円、「職歴20年」は5,839.59千円、「職歴30年」は6,584.87千円であった。東京都、東京都以外の全国をみると、すべての経験年数において東京都の平均年収が高い傾向にあった。とくに「職歴20年」では大きな差がみられた(図表 - 19)。

所在地別に経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率をみたところ、「職歴30年」では東京都が1.69倍と若干高い傾向にあった(図表 - 19グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率は、「職歴30年」で1.74倍と全体よりも若干高い傾向を示した(図表 - 19グラフ)。

図表 - 20 常勤臨床検査技師の経験年数別一人当たり年収



所在地別 (単位：千円)

平均年収 臨床検査技師	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
職歴3年	323	3,397.98	131	3,594.63	185	3,259.91
職歴10年	312	4,110.10	125	4,417.70	180	3,900.02
職歴20年	292	5,038.89	118	5,391.64	169	4,804.75
職歴30年	252	5,688.41	101	5,981.07	146	5,492.37

病床規模別 (単位：千円)

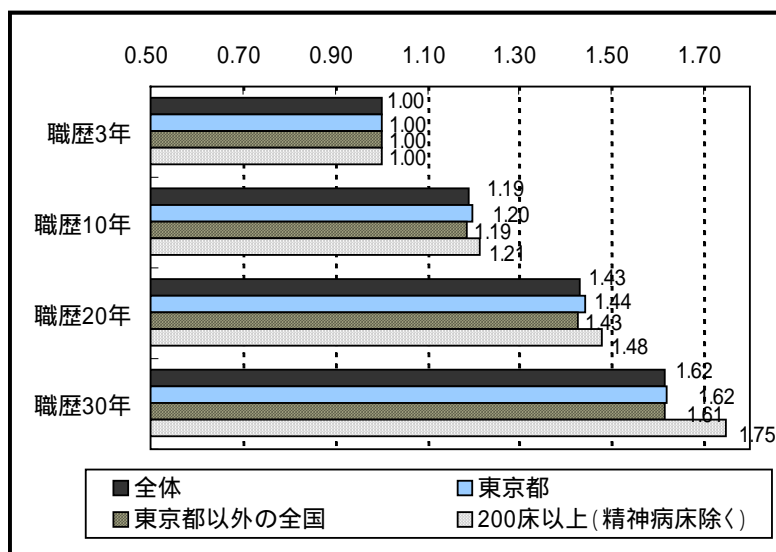
経験年数	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
職歴3年	66	3,539.68
職歴10年	64	4,319.05
職歴20年	58	5,294.17
職歴30年	49	6,188.16

臨床検査技師の経験年数別一人当たり平均年収をみると、「職歴3年」が3,397.98千円、「職歴10年」は4,110.10千円、「職歴20年」は5,038.89千円、「職歴30年」は5,688.41千円であった。東京都、東京都以外の全国をみると、すべての経験年数において東京都の平均年収が高い傾向にあった(図表 -20)。

所在地別に経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率をみたところ、「職歴30年」では東京都以外の全国が1.68倍と若干高い傾向にあった(図表 -20グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率は、「職歴30年」で1.75倍と全体よりも若干高い傾向を示した(図表 -20グラフ)。

図表 - 21 常勤管理栄養士の経験年数別一人当たり年収



所在地別 (単位: 千円)

平均年収 管理栄養士	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
職歴3年	347	3,271.93	137	3,500.77	202	3,118.05
職歴10年	323	3,897.49	127	4,196.24	189	3,699.97
職歴20年	291	4,682.83	111	5,057.24	174	4,450.94
職歴30年	267	5,285.62	104	5,669.77	157	5,031.20

病床規模別 (単位: 千円)

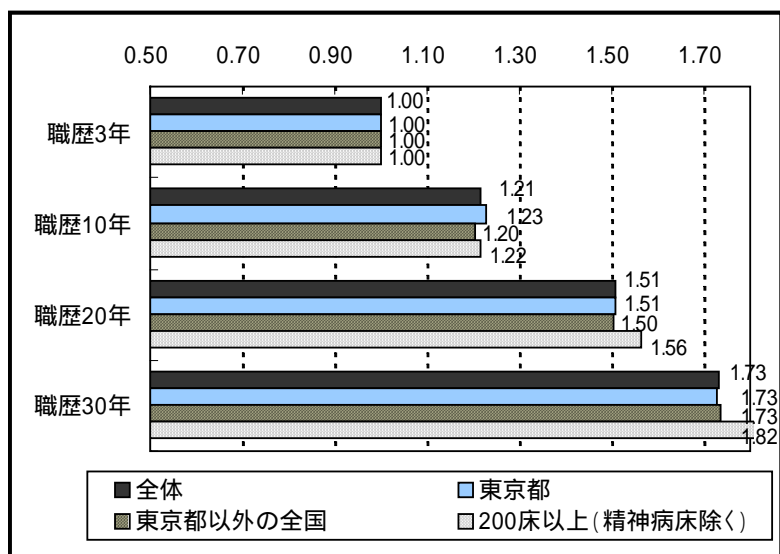
経験年数	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
職歴3年	63	3,304.41
職歴10年	62	4,010.44
職歴20年	55	4,893.49
職歴30年	49	5,773.41

管理栄養士の経験年数別一人当たり平均年収をみると、「職歴3年」が3,271.93千円、「職歴10年」は3,897.49千円、「職歴20年」は4,682.83千円、「職歴30年」は5,285.62千円であった。東京都、東京都以外の全国をみると、すべての経験年数において東京都の平均年収が高い傾向にあった(図表 -21)。

所在地別に経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率をみたところ、大きな違いはみられなかった(図表 -21グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率は、「職歴30年」で1.75倍と全体よりも比較的高い傾向を示した(図表 -21グラフ)。

図表 - 22 常勤事務・その他職員の経験年数別一人当たり年収



所在地別 (単位：千円)

平均年収 事務・その他	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
職歴3年	397	2,929.69	162	3,153.85	227	2,767.24
職歴10年	381	3,558.79	155	3,879.16	218	3,329.63
職歴20年	343	4,418.62	140	4,759.04	196	4,163.24
職歴30年	298	5,069.49	115	5,445.21	176	4,798.77

病床規模別 (単位：千円)

経験年数	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
職歴3年	68	3,119.60
職歴10年	68	3,790.53
職歴20年	61	4,874.25
職歴30年	52	5,688.87

事務・その他の経験年数別一人当たり平均年収をみると、「職歴3年」が2,929.69千円、「職歴10年」は3,558.79千円、「職歴20年」は4,418.62千円、「職歴30年」は5,069.49千円であった。東京都、東京都以外の全国をみると、すべての経験年数において東京都の平均年収が高い傾向にあった。とくに「職歴30年」では大きな差がみられた(図表 -22)。

所在地別に経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率をみたところ、大きな違いはみられなかった(図表 -22グラフ)。

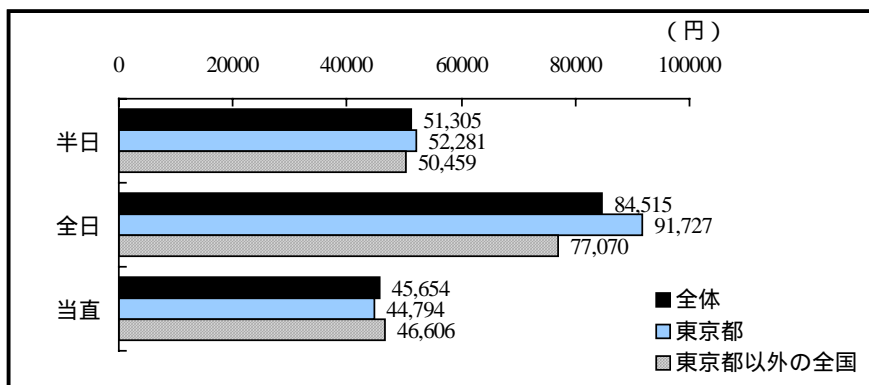
200床以上(精神病床除く)についてみると、経験年数3年目の年収を1とした際の年収増加率は、「職歴30年」で1.82倍と全体よりも比較的高い傾向を示した(図表 -22グラフ)。

3. 非常勤者の給与実態

本設問では、平成14年度の非常勤者の勤務帯別による1回当たり年収を調査した。各調査結果は図表 -23から図表 -32に示している。

(1) 非常勤医師

図表 -23 非常勤医師の勤務帯別1回当たり支給額(最高支給額)



所在地別

(単位：円)

最高支給額	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
1回当たり支給額 半日(円)	365	51,305.07	183	52,280.95	174	50,458.51
1回当たり支給額 全日(円)	363	84,515.21	179	91,727.20	176	77,069.62
1回当たり支給額 当直(円)	390	45,654.16	183	44,793.72	200	46,606.46
年齢 半日(歳)	225	45.62	128	44.97	91	46.18
年齢 全日(歳)	226	43.78	121	44.41	100	42.69
年齢 当直(歳)	183	36.73	94	37.11	84	36.13

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の合計は、全体と一致しない。

病床規模別

(単位：円)

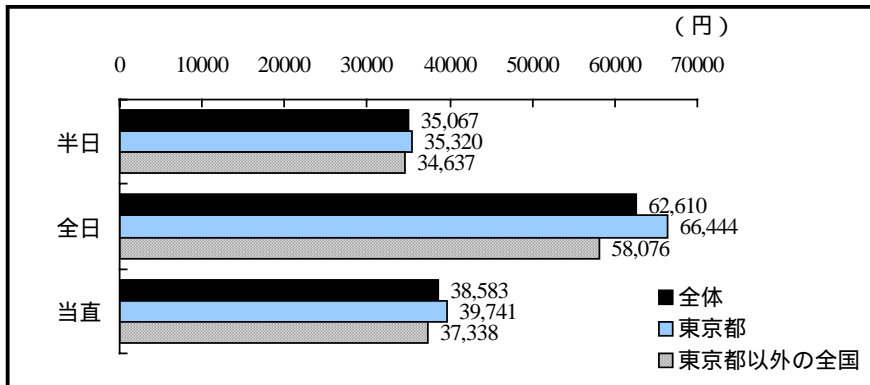
最高支給額	200床以上(精神病床除く)	
	病院数	平均値
1回当たり支給額 半日(円)	59	52,668.75
1回当たり支給額 全日(円)	61	81,777.84
1回当たり支給額 当直(円)	61	49,422.95

非常勤医師の勤務帯別1回当たり最高支給額をみると、「半日」が51,305.07円、「全日」は84,515.21円、「当直」は45,654.16円であった。支給者の年齢をみると、「半日」では45.62歳、「全日」で43.78歳、「当直」は36.73歳であった(図表 -23)。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国の1回当たりの最高支給額は「半日」、「全日」において東京都の平均最高支給額が高い傾向にあった。とくに「全日」の1回当たり最高支給額について大きな差がみられた。(図表 -23グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、1回当たり最高支給額は「半日」、「当直」について全体よりも高い傾向を示した(図表 -23)。

図表 - 24 非常勤医師の勤務帯別 1 回当たり支給額（最低支給額）



所在地別

(単位：円)

最低支給額	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
1回当たり支給額 半日 (円)	274	35,067.08	154	35,320.23	115	34,636.73
1回当たり支給額 全日 (円)	250	62,609.76	134	66,444.12	109	58,075.62
1回当たり支給額 当直 (円)	228	38,582.62	128	39,740.77	96	37,337.93
年齢 半日 (歳)	186	33.82	111	33.75	70	33.76
年齢 全日 (歳)	176	33.75	103	34.53	68	32.49
年齢 当直 (歳)	125	30.71	76	30.47	47	31.04

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の合計は、全体と一致しない。

病床規模別

(単位：円)

最低支給額	200床以上 (精神病床除く)	
	病院数	平均値
1回当たり支給額 半日 (円)	50	32,950.04
1回当たり支給額 全日 (円)	41	57,299.54
1回当たり支給額 当直 (円)	39	37,721.59

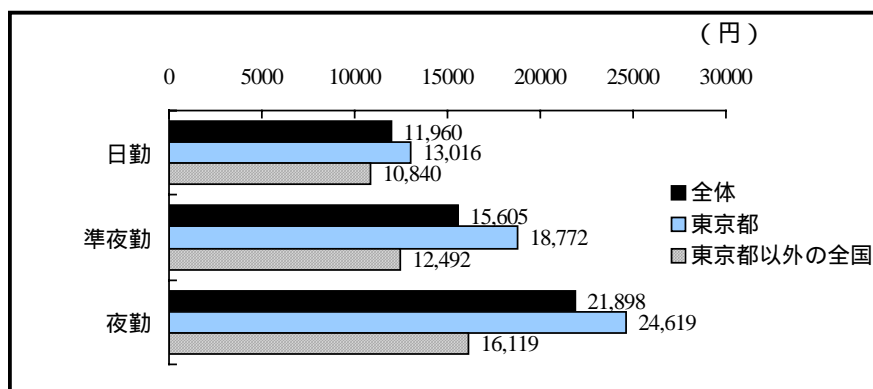
非常勤医師の勤務帯別 1 回当たり最低支給額をみると、「半日」が35,067.08円、「全日」は62,609.76円、「当直」は38,582.62円であった。支給者の年齢をみると、「半日」で33.82歳、「全日」で33.75歳、「当直」で30.71歳であった(図表 -24)。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国の 1 回当たりの最低支給額はすべての勤務帯において東京都の平均最低支給額が高い傾向にあった。とくに「全日」の 1 回当たり最低支給額について大きな差がみられた。(図表 -24グラフ)。

200床以上 (精神病床除く) についてみると、1 回当たり最低支給額はいずれの勤務帯においても全体と比較して低い傾向にあった(図表 -24)。

(2) 非常勤正看護師

図表 - 25 非常勤看護職の勤務帯別 1 回当たり支給額 (最高支給額)



所在地別

(単位：円)

最高支給額	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	306	11,960.34	158	13,015.93	142	10,840.44
1回当たり支給額 準夜勤(円)	55	15,605.00	28	18,772.43	25	12,492.48
1回当たり支給額 夜 勤(円)	193	21,897.87	131	24,619.31	61	16,119.15
年齢 日 勤(歳)	191	41.41	103	41.03	83	41.80
年齢 準夜勤(歳)	25	39.36	18	40.72	7	35.86
年齢 夜 勤(歳)	89	39.10	66	39.18	23	38.87

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の合計は、全体と一致しない。

病床規模別

(単位：円)

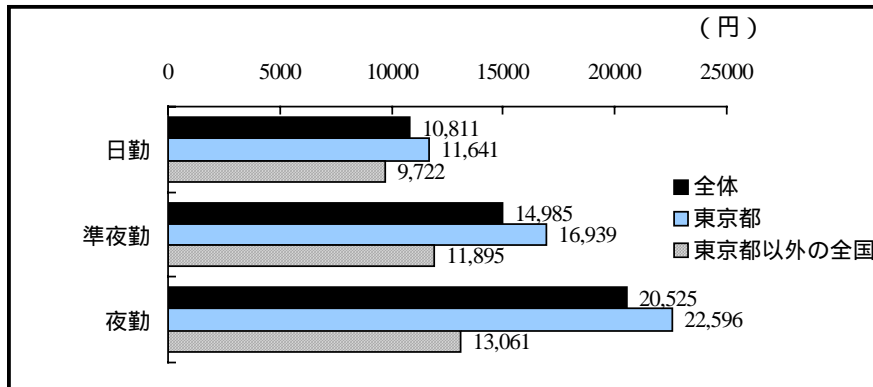
最高支給額	200床未満(精神病床除く)	
	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	55	11,643.55
1回当たり支給額 準夜勤(円)	16	16,518.63
1回当たり支給額 夜 勤(円)	31	21,376.61

非常勤正看護師の勤務帯別 1 回当たり最高支給額をみると、「日勤」が11,960.34円、「準夜勤」は15,605.00円、「夜勤」は21,897.87円であった。支給者の年齢は、「日勤」41.41歳、「準夜勤」で39.36歳、「夜勤」で39.10歳であった(図表 -25)。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国の 1 回当たりの最高支給額はすべての勤務帯において東京都の平均最高支給額が高い傾向にあった。とくに「夜勤」の 1 回当たり最高支給額について大きな差がみられた。(図表 -25グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、「準夜勤」については全体と比較して若干高い傾向にあった(図表 -25)。

図表 - 26 非常勤正看護師の勤務帯別 1 回当たり支給額（最低支給額）



所在地別

（単位：円）

最低支給額	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	179	10,811.48	104	11,641.49	70	9,722.40
1回当たり支給額 準夜勤(円)	27	14,985.22	18	16,939.33	7	11,894.57
1回当たり支給額 夜 勤(円)	96	20,525.02	76	22,595.66	18	13,061.44
年齢 日 勤(歳)	112	35.50	56	37.05	53	33.45
年齢 準夜勤(歳)	15	28.47	11	28.82	4	27.50
年齢 夜 勤(歳)	52	31.15	45	30.93	7	32.57

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の合計は、全体と一致しない。

病床規模別

（単位：円）

最低支給額	200床未満（精神病床除く）	
	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	33	10,359.94
1回当たり支給額 準夜勤(円)	10	15,045.90
1回当たり支給額 夜 勤(円)	18	18,210.94

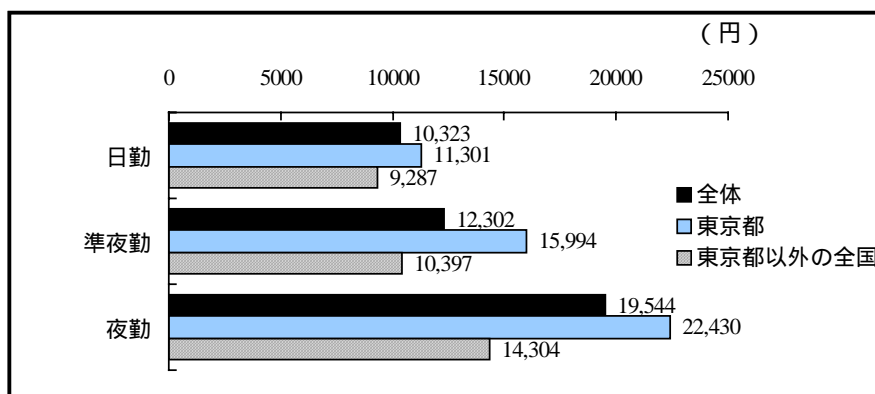
非常勤正看護師の勤務帯別 1 回当たり最低支給額をみると、「日勤」が10,811.48円、「準夜勤」は14,985.22円、「夜勤」は20,525.02円であった。支給者の年齢は、「日勤」35.50歳、「準夜勤」で28.47歳、「夜勤」で31.15歳であった（図表 -26）。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国の 1 回当たりの最低支給額はすべての勤務帯において東京都の平均最低支給額が高い傾向にあった。とくに、「準夜勤」、「夜勤」の 1 回当たり最低支給額について大きな差がみられた。（図表 -26グラフ）。

200床以上（精神病床除く）についてみると、「準夜勤」については全体と比較して若干高い傾向にあった（図表 -26）。

(3) 非常勤准看護師

図表 - 27 准看護師の勤務帯別 1 回当たり支給額 (最高支給額)



所在地別

(単位：円)

最高支給額	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	278	10,322.80	144	11,301.35	127	9,287.04
1回当たり支給額 準夜勤(円)	49	12,301.98	17	15,994.18	30	10,397.13
1回当たり支給額 夜 勤(円)	171	19,544.37	110	22,429.80	60	14,304.00
年齢 日 勤(歳)	171	41.47	91	40.98	74	42.11
年齢 準夜勤(歳)	22	37.64	11	37.27	11	38.00
年齢 夜 勤(歳)	79	36.84	54	37.43	24	35.42

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国のは、全体と一致しない。

病床規模別

(単位：円)

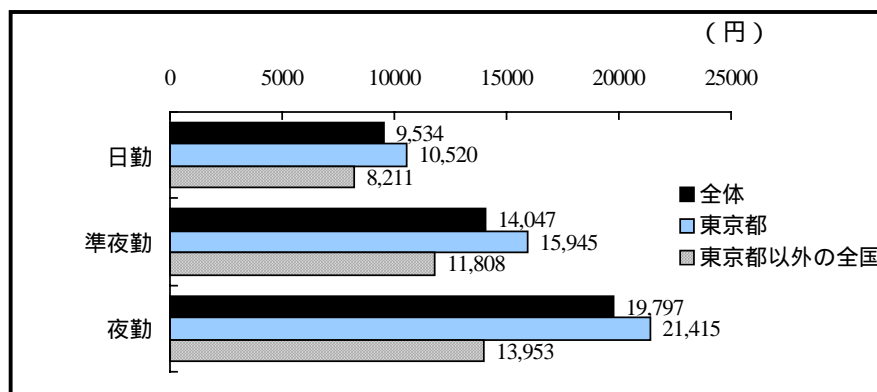
最高支給額	200床未満(精神病床除く)	
	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	46	9,890.50
1回当たり支給額 準夜勤(円)	15	12,414.40
1回当たり支給額 夜 勤(円)	23	18,228.22

非常勤准看護師の勤務帯別 1 回当たり最高支給額をみると、「日勤」が10,322.80円、「準夜勤」は12,301.98円、「夜勤」は19,544.37円であった。支給者の年齢は、「日勤」41.47歳、「準夜勤」で37.64歳、「夜勤」で36.84歳であった(図表 -27)。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国の 1 回当たりの最高支給額はすべての勤務帯において東京都の平均最高支給額が高い傾向にあった。とくに、「準夜勤」、「夜勤」の 1 回当たり最高支給額について大きな差がみられた。(図表 -27グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、「準夜勤」については全体と比較して若干高い傾向にあった(図表 -27)。

図表 - 28 非常勤准看護師の勤務帯別1回当たり支給額（最低支給額）



所在地別

（単位：円）

最低支給額	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	153	9,533.62	90	10,520.23	59	8,210.54
1回当たり支給額 準夜勤(円)	22	14,047.05	14	15,944.64	6	11,807.83
1回当たり支給額 夜 勤(円)	84	19,797.30	66	21,415.05	17	13,952.53
年齢 日 勤(歳)	102	31.66	60	31.60	41	31.54
年齢 準夜勤(歳)	12	25.92	9	23.78	3	32.33
年齢 夜 勤(歳)	42	27.76	35	27.06	7	31.29

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の合計は、全体と一致しない。

病床規模別

（単位：円）

最低支給額	200床未満（精神病床除く）	
	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	27	8,855.78
1回当たり支給額 準夜勤(円)	7	11,292.00
1回当たり支給額 夜 勤(円)	13	17,204.08

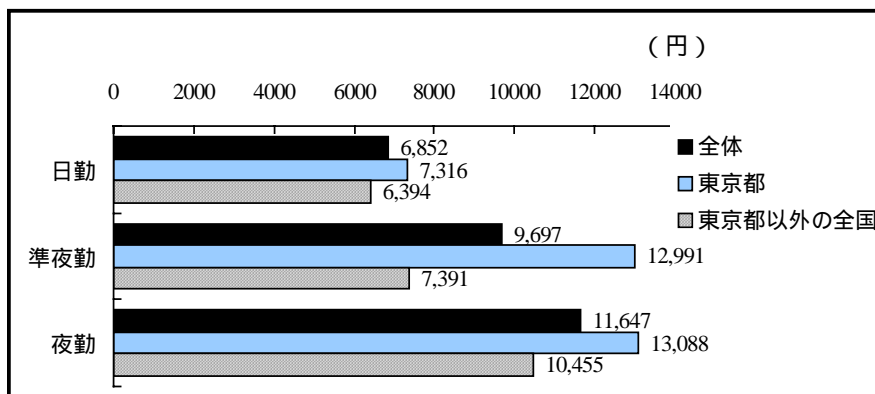
非常勤准看護師の勤務帯別1回当たり最低支給額をみると、「日勤」が9,533.62円、「準夜勤」は14,047.05円、「夜勤」は19,797.30円であった。支給者の年齢は、「日勤」31.66歳、「準夜勤」で25.92歳、「夜勤」で27.76歳であった（図表 -28）。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国の1回当たりの最低支給額はすべての勤務帯において東京都の平均最低支給額が高い傾向にあった。とくに、「準夜勤」、「夜勤」の1回当たり最低支給額について大きな差がみられた。（図表 -28グラフ）。

200床以上（精神病床除く）についてみると、1回当たり最低支給額は全体と比較して低い傾向にあった（図表 -28）。

(4) 非常勤看護助手・介護職

図表 - 29 非常勤看護助手・看護職の勤務帯別1回当たり支給額（最高支給額）



所在地別 (単位：円)

最高支給額	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	218	6,851.56	108	7,316.04	105	6,394.08
1回当たり支給額 準夜勤(円)	17	9,696.76	7	12,991.29	10	7,390.60
1回当たり支給額 夜 勤(円)	81	11,647.38	34	13,087.88	45	10,454.56
年齢 日 勤(歳)	128	43.75	67	44.69	57	43.53
年齢 準夜勤(歳)	9	41.33	5	44.40	4	37.50
年齢 夜 勤(歳)	32	43.19	14	44.14	17	43.00

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の合計は、全体と一致しない。

病床規模別 (単位：円)

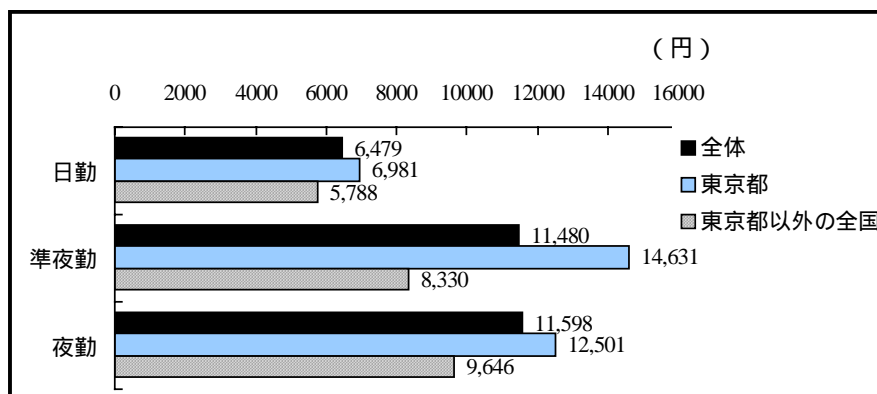
最高支給額	200床未満(精神病床除く)	
	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	45	6,873.53
1回当たり支給額 準夜勤(円)	6	8,329.33
1回当たり支給額 夜 勤(円)	14	9,787.93

非常勤看護助手・看護職の勤務帯別1回当たり最高支給額をみると、「日勤」が6,851.56円、「準夜勤」は9,696.76円、「夜勤」は11,647.38円であった。支給者の年齢は、「日勤」43.75歳、「準夜勤」で41.33歳、「夜勤」で43.19歳であった(図表 -29)。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国の1回当たりの最高支給額はすべての勤務帯において東京都の平均最高支給額が高い傾向にあった。とくに、「準夜勤」の1回当たり最高支給額について大きな差がみられた。(図表 -29グラフ)。

200床以上(精神病床除く)についてみると、「準夜勤」、「夜勤」の1回当たり最高支給額は、回答施設数が少ないものの全体と比較して低い傾向にあった(図表 -29)。

図表 - 30 看護助手・看護職の勤務帯別一回当たり支給額（最低支給額）



所在地別

（単位：円）

最低額	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	122	6,478.58	70	6,980.99	48	5,788.44
1回当たり支給額 準夜勤(円)	8	11,480.38	4	14,630.50	4	8,330.25
1回当たり支給額 夜 勤(円)	36	11,598.00	22	12,501.00	12	9,646.42
年齢 日 勤(歳)	84	35.88	49	36.78	33	35.42
年齢 準夜勤(歳)	5	27.80	3	31.67	2	22.00
年齢 夜 勤(歳)	19	34.79	10	34.60	8	36.38

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の合計は、全体と一致しない。

病床規模別

（単位：円）

最低額	200床未満（精神病床除く）	
	病院数	平均値
1回当たり支給額 日 勤(円)	27	6,178.59
1回当たり支給額 準夜勤(円)	3	8,663.67
1回当たり支給額 夜 勤(円)	7	9,926.57

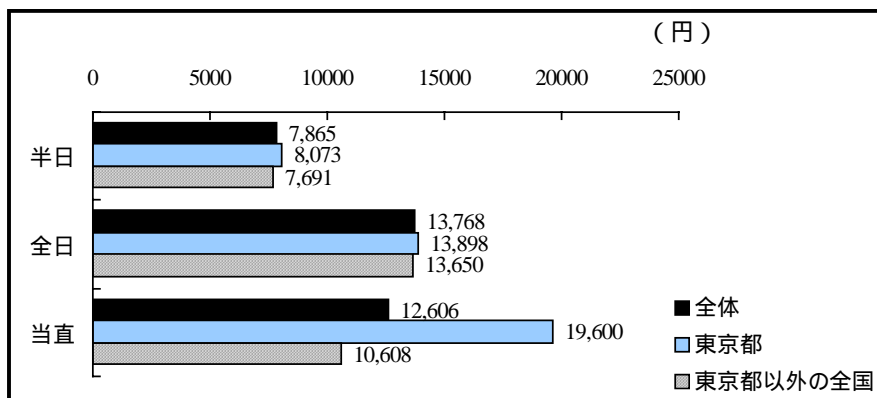
非常勤看護助手・看護職の勤務帯別1回当たり最低支給額をみると、「日勤」が6,478.58円、「準夜勤」は11,480.38円、「夜勤」は11,598.00円であった。支給者の年齢は、「日勤」35.88歳、「準夜勤」で27.80歳、「夜勤」で34.79歳であった（図表 -30）。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の全国の1回当たりの最低支給額はすべての勤務帯において東京都が高い傾向にあった。特に、「準夜勤」の1回当たり最低支給額について大きな差がみられた。（図表 -30グラフ）。

200床以上（精神病床除く）についてみると、全体と比較していずれの勤務帯も低い傾向を示した（図表 -30）。

(4) 非常勤薬剤師

図表 - 31 非常勤薬剤師の勤務帯別一回当たり年収（最高支給額）



所在地別 (単位：円)

最高支給額	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
1回当たり支給額 半日（円）	70	7,865.27	32	8,072.66	38	7,690.63
1回当たり支給額 全日（円）	82	13,767.80	39	13,897.82	43	13,649.88
1回当たり支給額 当直（円）	9	12,606.33	2	19,600.00	7	10,608.14
年齢 半日（歳）	34	42.76	18	42.56	16	43.00
年齢 全日（歳）	41	41.68	23	40.22	18	43.56
年齢 当直（歳）	4	38.75	1	28.00	3	42.33

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国のは、全体と一致しない。

病床規模別 (単位：円)

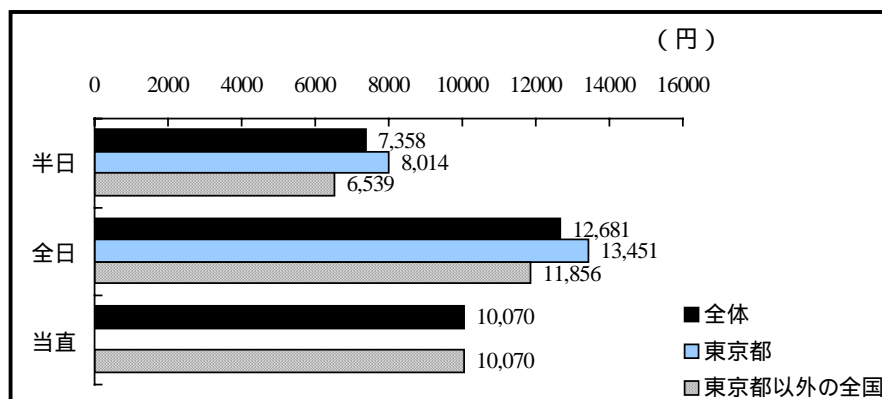
最高支給額	200床未満（精神病床除く）	
	病院数	平均値
1回当たり支給額 半日（円）	14	8,217.43
1回当たり支給額 全日（円）	19	13,373.95
1回当たり支給額 当直（円）	5	10,491.40

非常勤薬剤師の勤務帯別1回当たり最高支給額をみると、「半日」が7,865.27円、「全日」は13,767.80円、「当直」は12,606.33円であった。支給者の年齢は、「半日」42.76歳、「全日」で41.68歳、「当直」で38.75歳であった（図表 -31）。

所在地別にみると、東京都、東京都以外の1回当たりの最高支給額はすべての勤務帯において東京都が高い傾向にあった。特に、「当直」の1回当たり最高支給額について大きな差がみられた。（図表 -31グラフ）。

200床以上（精神病床除く）についてみると、「半日」については全体と比較して高い傾向にあった（図表 -31）。

図表 - 32 非常勤薬剤師の勤務帯別1回あたり支給額（最低支給額）



所在地別

（単位：円）

最高額	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
1回あたり支給額 半日（円）	27	7,358.33	15	8,014.00	12	6,538.75
1回あたり支給額 全日（円）	29	12,681.38	15	13,451.33	14	11,856.43
1回あたり支給額 当直（円）	4	10,070.00	0	-	4	10,070.00
年齢 半日（歳）	18	34.61	11	36.45	7	31.71
年齢 全日（歳）	16	36.94	11	40.00	5	30.20
年齢 当直（歳）	2	39.00	0	-	2	39.00

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の合計は、全体と一致しない。

病床規模別

（単位：円）

最高額	200床未満（精神病床除く）	
	病院数	平均値
1回あたり支給額 半日（円）	5	7,342.00
1回あたり支給額 全日（円）	8	12,287.50
1回あたり支給額 当直（円）	2	8,640.00

非常勤薬剤師の勤務帯別1回あたり最低支給額をみると、「半日」が7,358.33円、「全日」は12,681.38円、「当直」は10,070.00円であった。支給者の年齢は、「半日」34.61歳、「全日」で36.94歳、「当直」で39.00歳であった（図表 -32）。

所在地別にみると、回答施設数は限られているが「半日」、「全日」について東京都の最低支給額が高い傾向にあった（図表 -32グラフ）。

200床以上（精神病床除く）についてみると、1回あたり最低支給額は全体と比較して低い傾向にあった。とくに「当直」において大きな差がみられた（図表 -32）。

4. 職員の定着状況

本設問では、平成15年12月時点の職種別職員数、平成15年1年間の新規採用者数、退職者数を調査した。その結果をもとに職種別常勤職員の定着率を集計することを目指した。

$$\text{定着率} = \frac{(\text{12月末職員数} + \text{新規採用者数} - \text{退職者数})}{(\text{12月末職員数} + \text{新規採用者数})}$$

図表 - 33 常勤職員の定着率

(単位：%)

常勤職員 定着率	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
医師	452	85.9%	216	86.6%	229	85.4%
研修医	39	79.9%	21	73.7%	17	87.5%
正看護師	475	83.6%	216	81.4%	252	85.3%
准看護師	466	85.6%	212	83.9%	246	86.9%
看護助手・介護職	450	83.8%	202	82.4%	242	85.0%
医療関連有資格者	456	89.5%	212	90.0%	237	89.0%
事務その他	466	87.4%	216	86.3%	242	88.2%

注：大学からの派遣医師の交代は、「医師」数としてカウントしている。
 年末在職者数 + 年間採用者数 < 年間退職者数が上回った場合は無回答とする

常勤職員 定着率	200床以上（精神病床除く）	
	病院数	平均値
医師	81	83.9%
研修医	24	81.8%
正看護師	79	87.6%
准看護師	76	88.7%
看護助手・介護職	73	86.6%
医療関連有資格者	80	90.1%
事務その他	79	89.4%

常勤職員の定着率をみると、「医師」85.9%、「研修医」79.9%、「正看護師」83.6%、「准看護師」85.6%、「看護助手・介護職」83.8%、「医療関連有資格者」89.5%、「事務・その他」87.4%であり、職種間では「研修医」を除き、「正看護師」、「看護助手・介護職」の定着率が低い傾向にあった。所在地別にみると東京都以外の全国の方が定着率が高い傾向にあった（「医師」、「医療関連有資格者」は除く）（図表 - 33）。

5 . 収益状況

本設問では、回答病院の平成14年度の収益状況について実態調査を行った。

図表 - 34 収益状況

(単位：%)

収益状況	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	平均値	病院数	平均値	病院数	平均値
医業収入 ÷ 医業費用	399	104.3	169	102.9	222	105.4

収益状況	200床以上（精神病床除く）	
	病院数	平均値
医業収入 ÷ 医業費用	69	103.73

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の合計は、全体と一致しない。

収益状況	全体		東京都		東京都以外の全国	
	病院数	%	病院数	%	病院数	%
100%未満	101	25.3	49	29.0	48	21.6
100%以上106%未満	168	42.1	78	46.2	88	39.6
106%以上	130	32.6	42	24.9	86	38.7
全体	399	100.0	169	100.0	222	100.0

注：所在地不明の病院があるため、東京都と東京都以外の全国の合計は、全体と一致しない。

収益状況についてみると、医業費用に占める医業収入の割合は平均104.3%であった。所在地別にみると、東京都以外の全国の方が平均105.4%と収益率が高い傾向にあった（図表-34）。

収益率についてその分布状況をみると、「100%未満」の赤字施設が25.3%を占めた。一方、「100%以上106%未満」は42.1%、「106%以上」が32.6%であった。所在地別にみると、「100%未満」の赤字施設の割合は東京都の方が高い傾向にあった（図表 -34）。

6 . 平成14年度における改築、一部閉鎖等の特記事項（自由回答）

増改築工事（14年度は外来周りと駐車場の改修工事があった）。
手術室の回収。
平成14年4月に、療養ベット（50床）を辞退した（医師定員が1名不足の為）。
H14.10増改築。
薬局等の増改築有。
病院土地・建物を購入し、それに伴い融資借入利息・取得税、原価償却費等が増加しております。
増改築実施。6床室を4床室に変更（病床数変化なし）
4階一般病棟（51床）を療養病棟に変更 10床減少して41床とする
平成14年度は通常の年と異なったところはありません。平成15年度に外来棟の改築を行っております。
新たに西館を増築しました。
診療所建設により、病院外来より内科を移動させた。
H14.10～11 増改築のため約20日館病室42床を一時閉鎖した。
平成14年12月、病院併設で通所介護事業所（デイサービスセンター）を開設した。
一部、病棟改修工事を行ったので8月まで利用できない病棟があった。
2階病棟の閉鎖
理事長が社会福祉法人を設立。準備の為、人員を5名多く雇用した。
100床増床
事務室薬局増改築
備品棟・休憩室解体し、駐車場に
総務課・経理課がアパートを借りていたのをやめて、管理棟を作って入居した
健診棟建設
放射線室増改築
病棟増築、その他改修の実施
改修工事
病棟の改修工事
病床数変更
改築
病棟改築
新築移転
病棟改築
改築費530,000,000円
一部解体新築のため休床あり
H14.3に増改築完了
改築
退職金等の出費により大幅な赤字
職能給を入れると定着率の悪化（医師）や職員間の和が保てなくなる恐れがあり、中々実施できない
病棟拡張工事
病院増改築
平成14年4月1日よりベット76床から46床へ縮小。
療養病床への転換準備
療養病棟へ転換のため改築

後半期に療養病床への改修工事を行った
改築
産婦人科から婦人科に標榜科目の変更に伴い新生児室を一般病室へ変更
外来・病室改修
理事長退任、不動産売却、賃貸病院の改築
平成14年12月開設につき、上記設問内容は資料としては適切ではありませんが、ご考慮下さい。
療養病棟一部改修
建築直後のため不動産取得税などの租税公課、減価償却費、保安委託費などの費用が大幅に増加し、収益を圧迫した。
平成15年4月開設のため、該当項目しか記入できません。
特例許可老人病床22床を療養病床16床に転換のため、平成14年9月より15年2月まで改装工事を行ったため、今期中は6ヶ月間が、病床未稼働のため、減収、減益となった
増改築期間完成平成15年8月。期間中はベット（病床）数99床、増改築前と増改築後は127床
71床を59床に減床
療養型病床群から療養病床へ変更のため、病床数の減床。
増床34床～39床
平成14年12月開院
平成14年4月より個人から法人へ移行
平成15年8月末で特例許可老人病院126床を閉鎖。平成15年9月1日より療養病棟59床に変更。現在新病院新築中（126床）
院内および併設設備の改修工事
病棟の全面改修工事および病床数の変更（176床から156床）。介護保険型療養病棟（56床）への転換
病棟改築、病床数減、工事期間中一時閉鎖
平成13年7月から平成14年8月まで病棟改修工事を行ったため、病床数の制限をした（14.4.1～6.9まで188床、14.6.10～8.31まで118床、14.9.1～230床＝通常）
増改修工事を行い16人部屋を解消（全室4人以下）したほか、環境改善を図った。
旧館1～6階の改修工事が6月から11月にかけて行われた（厨房、透析室、オペ室、4～6階ナースステーション）。
本館の建て直し
周産期病棟、分娩室の整備改修（東京都母子医療施設整備事業）
医療近代化整備事業を進行させていたため、患者数が減少した。
回復期リハビリ病棟開設のため一部病床の使用制限（補助ベッドの減少）を行った。
平成15年に一般病棟に申請し、介護加算の申請を行うために、看護師の募集を先行投資とした。
院長死亡
増改築による病床数の減少
一般、療養病棟一部区分変更。一般（従来58 変更後51）、療養（従来20 変更後27）、合計（従来78 変更後78）
平成14年12月1日 増改築。82床 105床へ増床
薬価改訂があり、医療材料費が増加した。給食業務及びランドリー業務の委託を開始したため、経費が増加した。資産、負債の適正評価を行ったため、評価損益が医業外収益・医業外費用に計上されている。
14年2月に230床から400床の病院へ移転しています。
診療報酬のマイナス改定をもちに受け、約38%の減益となった。

平成11年11月外来機能を独立させクリニックを新築併設。平成11年12月より平成13年5月まで病院の増改修工事。銀行返済が始まった。
平成14年1月11日より新病院（移転による）にて診療開始。
増改築工事

総 括

医療従事者の給与に関する調査の概要

1. 調査方法

医療従事者の給与に関するアンケートは、平成14年度に続き実施したものであるが、平成15年度は東京都医師会・北海道病院協会とともに同じ調査票を用いて実施した。

調査対象は当協会会員のほか、東京都医師会、北海道病院協会の会員で合計2,602件に発送し、526件を回収した（回収率20.2%）。526件のうち、東京都医師会からの回収が246件と半分近くを占めたため、地区別分析は、東京都以外の全国（以下、全国と略）と東京都とを対比して行った。なお、各団体別の回収率は、東京都医師会が45.8%、北海道病院協会が20.6%、当協会は12.0%であった。

2. 調査結果

常勤者の給与体系の有無は、「明確なものはない」が11.7%（東京都11.8%）、「一応はあるが弾力的に対応している」が35.1%（39.4%）、「あって順守している」が34.8%（35.4%）、無回答が18.4%（13.4%）であり、全国・東京都とほとんど差はなかったが、200床以上（精神病床を除く）の病院では、「あって順守している」が57.3%と高い傾向にあった。

職種別では医師と、医師以外の職では大きく異なり、医師では「年俸制」が61.0%、「年功給よりも職能給」が10.2%、「一定年齢まで年功給」が12.6%であるが、他職種では「一定年齢まで年功給」が50%弱、次いで「職能給が基本」が30%前後であった。東京都も同様の傾向であった。

次に平成15年度の常勤者の給与改定をみると、医師については「変更がなかった」が64.5%と他職種と比べ最も多かった。これに対して、他の職種ではいずれも「引き上げた」の割合が4割程度であり、「引き下げた」はいずれも6%弱であった。東京都では「全体的に引き下げた」の割合が医師で8.1%と全国の2.5%よりも多かったが、他職種でも同様に高い傾向であった。

200床以上（精神病床を除く）の病院では、「引き上げた」の割合が医師で34.8%（全体21.6%）と高くなっている一方で「引き下げた」の割合も13.1%（全体5.2%）と高く、給与改定を行った割合が多く、他職種でも同様の傾向が見られた。

常勤者の平均年間総支給額は医師16,070,150円、看護師5,258,140円、准看護師4,762,350円、看護助手・介護職3,204,920円、技術職5,068,310円、事務職4,036,860円であった。東京都では、医師が15,976,500円と全国よりもわずかに低いが、看護師は5,705,260円であり、医師以外の職種ではいずれも2割程度高くなっている。なお、常勤者の年間勤務日数は、医師が254日（東京都249日）、看護師が257.2日、准看護師が258日（255日）、技術職が259日（255日）、事務職が260日（258日）と全国と比べて若干少なかったため、時給に換算すると東京は全国よりもいっそう高い水準となる。

各職種の勤続3年平均年収を1とした時の勤続30年平均年収の比は、医師1.68（東京都1.63）、看護師1.48（1.44）、看護助手・介護職1.44（1.43）、事務職1.63（1.61）であり、東京都も全国とほとんど同じ傾向であった。なお、200床以上（精神病床除く）では、医師の1.56をはじめ、他の職種も同様に若干高い傾向にあった。

非常勤者の1回当たりの支給額について、医師の全日の最高支給額が84,515円、同最低支給額が62,610円、それ以外の職種は、看護師の夜勤の最高支給額が21,898円、最低支給額が20,525円、以下同じ順に看護助手11,647円、11,598円、さらに薬剤師の当直が12,606円、10,070円であった。地域別に見ると、東京都では医師の全日最高支給額が91,727円（東京都を除く全国は77,070円）となっているほか、全ての職種で全国より高い傾向が見られた。

職員の定着率については、看護師が最も悪く83.6%、次いで看護助手83.8%、准看護師85.6%、医師85.9%、事務87.4%、医療関係有資格者89.5%であった。病床別・地域別に見ても東京都も全国と同様な傾向が見られた。

次に、収益状況については、平均が104.3（東京都102.9%）、100%未満の構成比が25.3%（29%）、100-106%が42.1%（46.2%）、106%以上が32.6%（24.9%）であった。東京都の数値と比較すると、東京都は全国と比べて収益率が全体として悪く、また赤字の病院の割合が多かった。

3.まとめ

給与体系があって順守している割合は全体の3分の1程度に過ぎず、「弾力的に解釈して対応している」を加えても7割程度であった。医師と他の職種とでは異なる傾向にあり、医師は「年俸制」が多く、他職種では「一定年齢まで年功給」が多かったが、経験年数による給与の格差をみると、医師は事務職とともに年功の傾向が強く、逆に看護師および看護助手・介護職は弱かった。東京都と全国を比べると、東京都のほうが給与水準は全般に高く、病院の収益率は低かった。今後の課題は、全ての調査項目について漏れなく回答できる病院を予め選別し、電子媒体によってデータを経年的に的確、且つ効率的に把握することである。

医療従事者の給与に関するアンケート(再依頼)

(お願い) ご回答いただける範囲で結構ですので、最後までご記入をお願いいたします。

F S 1 貴院の正式名称・所在地・記入者名をご記入ください。

病 院 名			
所 在 地			
記 入 者 名	連絡先 TEL	FAX	(部署 :)

F S 2 貴院の病床についてご記入ください(該当病床がない場合には必ずゼロをご記入ください)。

一 般 病 床		許可病床数	床
療 養 病 床	医療保険療養病床	許可病床数	床
	介護保険療養病床	許可病床数	床
精 神 病 床		許可病床数	床
結 核 病 床		許可病床数	床
感 染 症 病 床		許可病床数	床
許可病床数の合計			床

F S 3 今後貴院が目指していく中心的な病床・病棟機能(何に特化するか)はどれですか。該当項目に印を記入して下さい。(複数回答可)

1 . 一般病床	2 . 医療保険療養病床	3 . 介護保険療養病床
4 . 一般病床と療養病床の両方(ケアミックス)		5 . 精神病床
6 . 精神病床と療養病床の両方		7 . その他

F S 4 貴院の標ぼう診療科名に該当する番号全てに をおつけください。

1 . 内科	2 . 外科	3 . 脳外科	4 . 小児科	5 . 整形外科
6 . 産婦人科	7 . 耳鼻咽喉科	8 . 眼科	9 . 皮膚科	10 . 泌尿器科
11 . 麻酔科	12 . 精神科	13 . その他		

・常勤者の給与についてお伺いします。

A) -1 貴院には職種別の給与体系はありますか。

1. 明確なものはない 2. 一応はあるが弾力的に対応している 3. あって順守している

→ A)-2 「1. 明確なものはない」と回答した施設にお伺いします。
 今後、給与体系を作成したいとお考えですか。
 1. はい 2. いいえ

B) 貴院の平成14年度の給与体系についてうかがいます。職種別にお答え下さい。

医師 (あてはまる もの1つに)	1. 公務員体系に準ずる 2. 一定年齢(勤続年数)まで年功給(その年齢は: _____歳) 3. 年齢(勤続年数)よりも職能給が基本 4. 年俸制
看護職 (あてはまる もの1つに)	1. 公務員体系に準ずる 2. 一定年齢(勤続年数)まで年功給(その年齢は: _____歳) 3. 年齢(勤続年数)よりも職能給が基本
技術職 (薬剤師、PT等)	1. 公務員体系に準ずる 2. 一定年齢(勤続年数)まで年功給(その年齢は: _____歳) 3. 年齢(勤続年数)よりも職能給が基本
事務職	1. 公務員体系に準ずる 2. 一定年齢(勤続年数)まで年功給(その年齢は: _____歳) 3. 年齢(勤続年数)よりも職能給が基本

C) 将来的にはどのような給与体系にしたいとお考えですか。また、「3. 年齢(勤続年数)よりも・・・」または「4. 年俸制」を選択された場合には開始された年を、予定されている場合はその年を記入して下さい。

医師 (あてはまる もの1つに)	1. 公務員体系に準ずる 2. 一定年齢(勤続年数)まで年功給(その年齢は: _____歳) 3. 年齢(勤続年数)よりも職能給が基本 (平成・昭和 _____年より開始) 4. 年俸制 (平成・昭和 _____年より開始)
医師以外の 職員 (あてはまる もの1つに)	1. 公務員体系に準ずる 2. 一定年齢(勤続年数)まで年功給(その年齢は: _____歳) 3. 年齢(勤続年数)よりも職能給が基本 (平成・昭和 _____年より開始) 4. 年俸制 (平成・昭和 _____年より開始)

D) 貴院の平成15年度における常勤在職者の給与改定についてお伺いします。改定した場合(「1. 全体的に引き上げた」もしくは「3. 全体的に引き下げた」)には、1人当たりのおおよその平均額についても職種別にお答え下さい。

医 師	1. 全体的に引き上げた 2. 変更しなかった 3. 全体的に引き下げた <div style="text-align: center;"> } ↓ { </div>
	1 または 3 の場合の 1 人当たり平均月額 _____ 円
看護職	1. 全体的に引き上げた 2. 変更しなかった 3. 全体的に引き下げた <div style="text-align: center;"> } ↓ { </div>
	1 または 3 の場合の 1 人当たり平均月額 _____ 円
技術職 (薬剤師、PT等)	1. 全体的に引き上げた 2. 変更しなかった 3. 全体的に引き下げた <div style="text-align: center;"> } ↓ { </div>
	1 または 3 の場合の 1 人当たり平均月額 _____ 円
事務職	1. 全体的に引き上げた 2. 変更しなかった 3. 全体的に引き下げた <div style="text-align: center;"> } ↓ { </div>
	1 または 3 の場合の 1 人当たり平均月額 _____ 円

平成14年度の常勤者の給与実態についてお伺いします。

A) 職種別人数、平均年齢、および1人当たりの年間の勤務日数、本俸(基本給)、諸手当、賞与、法定福利費、および総支給額の平均値を記入して下さい。年俸制の場合は総支給額の欄に記入して下さい。

年度の中途就職・退職、および出産・育児・介護休暇の職員は除いて下さい。

総支給額は社会保険料算定の対象となる金額で計算して下さい。

	人数	平均 年齢	1人当たり(平均)						
			年間 勤務 日数	年 間					
				本俸	諸手当	賞与	法定 福利費	総支給額 + + +	
医師 ¹⁾	人	才	日	千円	千円	千円	千円	千円	
看護職 ²⁾	正 看	人	才	日	千円	千円	千円	千円	千円
	准 看	人	才	日	千円	千円	千円	千円	千円
	・ 看護 助手	人	才	日	千円	千円	千円	千円	千円
技術職 ³⁾	人	才	日	千円	千円	千円	千円	千円	
事務 その他 ⁴⁾	人	才	日	千円	千円	千円	千円	千円	

1) 理事長、院長、歯科医師、研修医を除外

2) 看護部長を除外

3) 医療関連有資格者

4) 事務長を除外、また、上記に含まれない職種は事務職として分類

B) 職種別、経験年数別1人当たり平均年収についてうかがいます。中途採用者は貴院の職歴に換算して下さい。貴院に該当者がいない場合には近似額また想定額を記入して下さい。

		職歴3年 (1人当たり 平均年収)	職歴10年 (1人当たり 平均年収)	職歴20年 (1人当たり 平均年収)	職歴30年 (1人当たり 平均年収)
医師 ¹⁾		千円	千円	千円	千円
看護職 ²⁾	正看	千円	千円	千円	千円
	准看	千円	千円	千円	千円
	看護助手・ 介護職	千円	千円	千円	千円
技術職	薬剤師	千円	千円	千円	千円
	PT・OT ・ST	千円	千円	千円	千円
	放射線技師	千円	千円	千円	千円
	臨床検査技師	千円	千円	千円	千円
	管理栄養士	千円	千円	千円	千円
事務・その他 ³⁾		千円	千円	千円	千円

1) 院長・研修医・歯科医を除外

2) 看護部長を除外

3) 事務長を除外、また、上記に含まれない職種は事務職として分類

・非常勤者(常勤嘱託を含む)の給与実態についてお伺いします。

非常勤者(常勤嘱託を含む)1回当たりの当該病院としての支給額について職種ごとの最高額・最低額と年齢をお答え下さい。非常勤者が一人の場合は最高額の欄に記入して下さい。医師については担当する診療科名を下記の診療科番号を用いてご記入下さい。

支給額 = 諸手当すべて含めた総額として記入して下さい。

平日の場合に限ります。

二交代制の場合は、準夜勤に斜線を入れて下さい。

		最高額について		最低額について		
		1回当たり支給額	年齢	1回当たり支給額	年齢	
医 師	半日	円 (診療科番号:)	才	円 (診療科番号:)	才	
	全日	円 (診療科番号:)	才	円 (診療科番号:)	才	
	当直	円 (診療科番号:)	才	円 (診療科番号:)	才	
看 護 職	正 看	日勤	円	才	円	才
		準夜勤	円	才	円	才
		夜勤	円	才	円	才
	准 看	日勤	円	才	円	才
		準夜勤	円	才	円	才
		夜勤	円	才	円	才
	看護 助手・ 介護職	日勤	円	才	円	才
		準夜勤	円	才	円	才
		夜勤	円	才	円	才
薬 剤 師	半日	円	才	円	才	
	全日	円	才	円	才	
	当直	円	才	円	才	

< 診療科番号 >

1 . 内科	2 . 外科	3 . 脳外科	4 . 小児科	5 . 整形外科
6 . 産婦人科	7 . 耳鼻咽喉科	8 . 眼科	9 . 皮膚科	10 . 泌尿器科
11 . 麻酔科	12 . 精神科	13 . その他		

・職員の定着状況についてお伺いします。

平成15年12月末現在の職種別職員数（育児・介護休暇等取得者は除く）の人数、および平成15年1月1日から平成15年12月末日までの1年間の新規採用者数と退職者数を常勤・非常勤それぞれについてお答え下さい。

大学からの派遣医の交代は医師の欄に含めてご回答下さい。

A) 常勤職員について

	医師 (研修医を除く)	研修医	看護職			医療関連 有資格者	事務 その他
			正看	准看	看護助手 ・介護職		
12月末職員数	人	人	人	人	人	人	人
新規採用者数	人	人	人	人	人	人	人
退職者数	人	人	人	人	人	人	人

B) 非常勤職員について

	医師 (研修医を除く)	研修医	看護職			医療関連 有資格者	事務 その他
			正看	准看	看護助手 ・介護職		
12月末職員数	人	人	人	人	人	人	人
新規採用者数	人	人	人	人	人	人	人
退職者数	人	人	人	人	人	人	人

・貴院の収益状況

A) 平成14年度の医業収入÷医業費用の割合を記入して下さい。介護保険給付分（介護報酬）を含めた全体額をもとに、パーセントの小数点第2位を四捨五入し小数点第1位まで記入して下さい。なお、ここで対象となる収入と費用は調査対象となっている病院についてのものとしてください(法人全体額ではありません)。

$$\frac{\text{医業収入}}{\text{医業費用}} = \underline{\hspace{2cm}} \%$$

B) 貴院において平成14年度が通常の年と異なったこと（改築、一部閉鎖等）があればその概要をご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。下記まで郵送もしくはFAXにてご返信下さい。

* 問合せ先・返送先 全日本病院協会事務局（担当 熊野）
 〒101-8378 東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル6F
 TEL 03(3234)5165 FAX 03(3237)9366

医療従事者委員会 委員名簿

委員長	大橋正實	医療法人 耳鼻咽喉科麻生病院 理事長
委員	川島周	医療法人 川島会 川島病院 理事長
"	角野禎子	医療法人社団 柏信会 青木病院 理事長
外部委員	池上直己	慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室 教授
"	伊藤公一	伊藤病院 院長
"	川本均	医療法人財団 野口記念会 野口病院 事務長
"	高橋礼子	財団法人 東京都医療保健協会 練馬総合病院 看護部長
"	野口寿美代	医療法人 清和会 長田病院 事務次長
総括副会長	安藤高朗	医療法人社団 永生会 永生病院 理事長

医療従事者の給与に関する調査
調査結果報告書

平成16年9月発行

社団法人 全日本病院協会
〒101-8378 東京都千代田区三崎町3-7-12
清話会ビル6階
電話 03-3234-5165 (代)